

IBM

@server

iSeries

43xx 磁気ディスク機構、
71xx システム装置拡張機構、
71xx 磁気ディスク拡張機構

バージョン 5





@server

iSeries

43xx 磁気ディスク機構、
71xx システム装置拡張機構、
71xx 磁気ディスク拡張機構

バージョン 5

ご注意!

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、71 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) 表示

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本書は、IBM Operating System/400® のバージョン 5、リリース 3、モディフィケーション 0 (製品番号 5722-SS1)、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。このバージョンは、すべての RISC モデルで稼働するとは限りません。また CISC モデルでは稼働しません。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原 典： iSeries
43xx Disk Unit,
71xx Disk Expansion Unit,
71xx Disk Unit Enclosure
Version 5

発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2005.8

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 2000, 2005. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2005

目次

第 1 章 43xx または 71xx 磁気ディスク機構	1
はじめる前に	1
第 2 章 43xx 磁気ディスク機構の交換	3
システムが電源オンの状態での 43xx RAID またはミラー保護磁気ディスク機構の交換	3
システムが電源オフの状態での 43xx RAID またはミラー保護磁気ディスク機構の交換	8
第 3 章 43xx 磁気ディスク機構の取り付け	15
システムが電源オンの状態での 43xx 磁気ディスク機構の取り付け	15
詳細: システムが電源オンの状態での 43xx 磁気ディスク機構の取り付け	16
システムが電源オフの状態での 43xx 磁気ディスク機構の取り付け	20
詳細: システムが電源オフの状態での 43xx 磁気ディスク機構の取り付け	21
前面カバーの開口と取り外し	29
270、800、810、820、または 5075 の全面カバー	29
825 の前面カバー	30
ラック内の 270、800、または 810	31
830、840、870、890、5074、5079、5094、または 5095	32
磁気ディスク機構の位置	33
270、800、または 810 システム装置	33
7104 または 7116 拡張機構	34
820 システム装置	35
825 システム装置	36
830 システム装置	37
840 システム装置	38
870 および 890 システム装置	39
5065、5074、および 5094 拡張機構	40
最適な磁気ディスク機構の位置の選択	40
5075 および 5095 拡張機構	41
5079 および 5294 拡張機構	42
最適な磁気ディスク機構の位置の選択	42
システム装置のコントロール・パネル	45
270 サーバーへの 7104 拡張機構の取り付けまたは 800 または 810 サーバーへの 7116 拡張機構の取り付け	47
7123 または 7136 磁気ディスク拡張機構格納装置の取り付け	55
7124 または 7127 磁気ディスク拡張機構格納装置の取り付け	61
電源機構の取り付け	65
システム装置の電源オフ	67
側面および背面カバーの取り外し	69
付録. 特記事項	71
商標	72
資料に関するご使用条件	73
コードに関する特記事項	73


第 1 章 43xx または 71xx 磁気ディスク機構

このフィーチャーは、ユーザー自身で取り付けおよび交換することができます。本書を使用して、以下の作業を行うことができます。

- 前提条件の作業を実施する。
- システムの電源を切る。
- システム装置カバーを取り外す。
- ハードウェアを取り外す。
- 新しいハードウェアを取り付ける。
- カバーを取り付ける。
- オペレーティング・システムの IPL を実行する。
- 新しいハードウェア構成を検査する。

これらの作業には、約 1 時間かかります。ユーザーのジョブを完了し、システムのバックアップを取り、システムを IPL して、ハードウェア構成を検査するために時間がさらに必要になります。

これらの作業はご自分で実行することもできますが、IBM(R) または正規販売業者に有料で依頼することもできます。不都合が生じた場合は、特約店またはサービス提供元に連絡してください。

注: 装置に取り付け済みの磁気ディスク機構を除去または移動する場合は、「バックアップおよび回復の手引き」  を参照してください。

実行する作業の手順を参照してください。

- 3 ページの『第 2 章 43xx 磁気ディスク機構の交換』
- 15 ページの『第 3 章 43xx 磁気ディスク機構の取り付け』
- 47 ページの『270 サーバーへの 7104 拡張機構の取り付けまたは 800 または 810 サーバーへの 7116 拡張機構の取り付け』
- 55 ページの『7123 または 7136 磁気ディスク拡張機構格納装置の取り付け』
- 61 ページの『7124 または 7127 磁気ディスク拡張機構格納装置の取り付け』

これらの説明中の図は、ご使用のシステム装置と少し異なる場合もあります。ただし、作業を実行する手順は同じです。

はじめる前に

取り付け作業または交換作業を始める前に、以下の作業を行います。

- __ 1. 取り付けの場合、および可能であれば交換の場合も、使用しているシステム (オペレーティング・システム、ライセンス・プログラム、データなど) の最新バックアップが手元にあることを確認します。PTF を最後に適用した後でオペレーティング・システムおよびライセンス・プログラムのバックアップをとっていれば、そのバックアップでかまいません。
- __ 2. 手順全体に目を通して、一連の手順を理解してください。
- __ 3. 中型のマイナス・ドライバーを用意します。

__ 4. 部品が正しくなかったり、欠落している、あるいは外観上損傷がある場合には、以下にご連絡ください。

- 認可されたサービス提供元
- 米国の場合、IBM® 営業担当員
- 米国以外の場合、次の Web サイトを参照して、サービス番号とサポート番号を確認してください。

<http://www.ibm.com/planetwide>

__ 5. 論理区画に新しいハードウェアを取り付ける場合は、それを正常に行うための要件を計画および理解する必要があります。 *Information Center* の『論理区画』を参照してください。その後、この指示を参照してください。

__ 6. 取り付け中に不都合が生じた場合は、認可されたサービス提供元または特約店に連絡してください。

__ 7. 新しいフィーチャーを取り付ける前に、PTF 前提条件があるかどうかを確認してください。次の Web サイトにアクセスします。

http://www-912.ibm.com/s_dir/slkbase.NSF/slkbase

- a. 「**All Documents**」を選択します。
- b. 「**General Information**」を選択します。
- c. 「**Offerings**」を選択します。
- d. 「**Feature Prerequisites**」を選択します。
- e. 「**Customer Installation Features Prerequisites**」を選択します。
- f. この製品のフィーチャー番号と OS/400® リリースを見つけて、前提条件を調べます。

第 2 章 43xx 磁気ディスク機構の交換

43xx 磁気ディスク機構を交換するには、以下の作業を行います。

- __ 1. 1 ページの『はじめる前に』 に示されている前提条件の作業を実施します。
- __ 2. 29 ページの『前面カバーの開口と取り外し』。

ご使用のディスク保護によっては、磁気ディスク機構を交換する際に、システムまたは拡張機構の電源をオフにする (非並行) ことも、電源をオンにする (並行) こともできます。実行する作業の手順を参照してください。

- 『システムが電源オンの状態での 43xx RAID またはミラー保護磁気ディスク機構の交換』
- 8 ページの『システムが電源オフの状態での 43xx RAID またはミラー保護磁気ディスク機構の交換』


システムが電源オンの状態での 43xx RAID またはミラー保護磁気ディスク機構の交換

始める前に、電源オン (並行) 手順の複雑さを理解しておく必要があります。並行手順が使いにくい場合は、8 ページの『システムが電源オフの状態での 43xx RAID またはミラー保護磁気ディスク機構の交換』に進んでください。

システムが電源オンの状態で磁気ディスク機構を交換するには、以下の作業を行います。

- __ 1. 静電気の放電によりハードウェアが損傷しないように、可能な場合は、使い捨てリスト・バンドを着用してください。使い捨てリスト・バンドがない場合は、ハードウェアの取り付けまたは交換を行う前に、システムまたは拡張機構の金属面に触れてください。

2209 使い捨てリスト・バンドを受け取った場合は、以下の作業を行います。

- __ a. 使い捨てリスト・バンドを着用します。  ビデオをご覧ください。
- __ b. リスト・バンドを広げる時は、末端に付いている銅フォイルの裏打ちシールをはがします。
- __ c. 銅フォイルを、装置のフレームの露出した、塗装されていない金属面に貼り付けます。

注: リスト・バンドなしで使用する場合と同じ予防措置を行います。2209 使い捨てリスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用することによって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。

- __ 2. ご使用のシステム装置または拡張機構に対応した、33 ページの『磁気ディスク機構の位置』を確認します。
- __ 3. 磁気ディスク機構のカバーを取り外します。ラッチをつまんで引き出します。

注: iSeries 825 には磁気ディスク機構のカバーはありません。

- __ 4. 必ず、少なくとも保守レベルの権限を使用してサインオンしてください。
- __ 5. OS/400 セッションのコマンド行で **strsst** と入力し、Enter キーを押します。
- __ 6. 「システム保守ツール (SST) サインオン」画面で、**保守ツールのユーザー ID** および**保守ツールのパスワード**を入力します。Enter キーを押します。

注: 保守ツールのパスワードでは、大文字と小文字が区別されます。

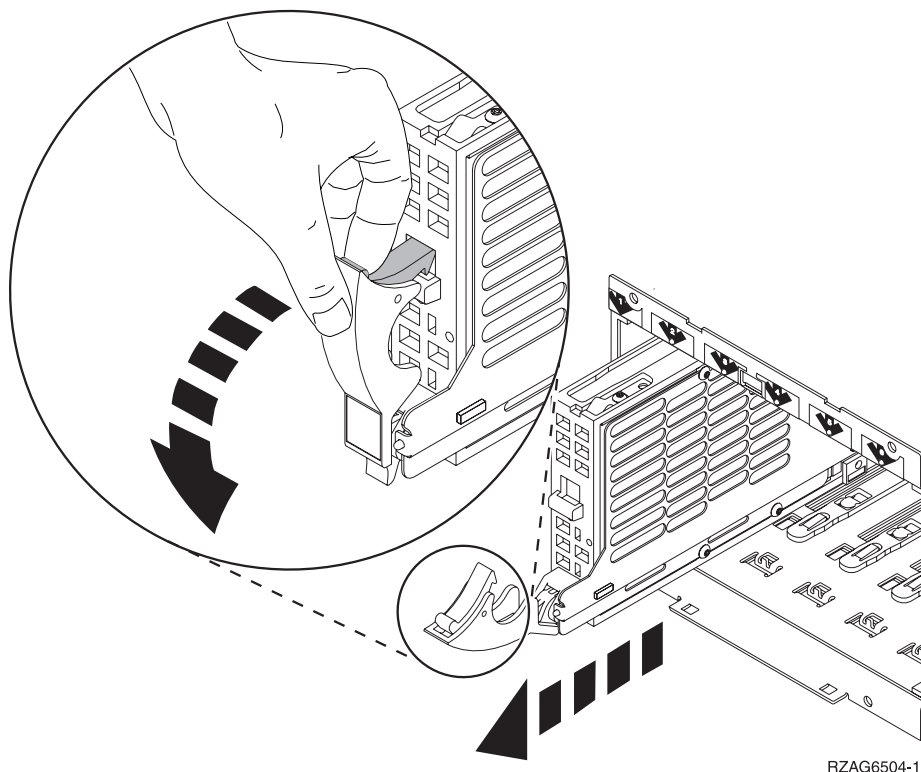
- __ 7. 「システム保守ツール (SST)」画面で、「保守ツールの開始」を選択します。 Enter キーを押します。
- __ 8. ミラー保護された磁気ディスク機構の場合、システムの電源を切る前に、以下の手順に従って、交換しようとしている磁気ディスク機構がサスペンド状態になっていることを確認してください。
 - __ a. 「システム保守ツール (SST)」画面で、「ディスク装置の処理」を選択します。 Enter キーを押します。
 - __ b. 「ディスク装置の処理」画面で、「ディスク構成の表示」を選択します。 Enter キーを押します。
 - __ c. 「ディスク構成の表示」画面で、「ディスク構成状況の表示」を選択します。 Enter キーを押します。
 - __ d. 交換しようとしている磁気ディスク機構にミラー化されている元の磁気ディスク機構 (同じ装置番号) の状態はアクティブになっていますか?
 - __ いいえ: 作業を中断します。磁気ディスク機構は交換しないでください。 IBM または認可されているサービス元に連絡してください。
 - __ はい: 交換しようとしている磁気ディスク機構の状態はサスペンド状態になっていますか?
 - __ はい: 次のステップに進みます。
 - __ いいえ: 以下の作業を行って、交換しようとしている磁気ディスク機構に対するミラー保護をサスペンドします。
 - 1) 「ディスク構成の表示」画面で F3 を押して、「ディスク装置の処理」画面に戻ります。
 - 2) 「ディスク装置の処理」画面で、「ディスク装置リカバリーの処理 (Work with Disk Unit Recovery)」を選択します。 Enter キーを押します。
 - 3) 「ディスク装置リカバリーの処理 (Work with Disk Unit Recovery)」画面で、「ミラー保護の中断 (Suspend mirrored protection)」を選択します。 Enter キーを押します。
 - 4) 「ミラー保護の中断 (Suspend Mirrored Protection)」画面で、交換しようとしている磁気ディスク機構をサスペンドするオプションを選択します。 Enter キーを押します。
 - 5) F3 を押して「ディスク装置の処理」画面に戻ります。
 - 6) F3 を押して、「システム保守ツール」画面に戻ります。
 - 7) 「システム保守ツール (SST)」画面で、「保守ツールの開始」を選択します。
- __ 9. 「保守ツールの開始」画面で、「ハードウェア保守管理機能」を選択します。 Enter キーを押します。
- __ 10. 「ハードウェア保守管理機能」画面で、「装置平行保守」を選択します。 Enter キーを押します。
- __ 11. 磁気ディスク機構を交換する位置の「物理位置」(フレーム ID と位置)を入力します。

注: 交換する磁気ディスク機構の物理位置は、通常、カスタマー・サポートにより提供されます。

たとえば、物理位置: フレーム ID 1___ 位置 D06___ の場合は、フレーム 1 (基本システム)、磁気ディスク機構位置 6 に磁気ディスク機構を取り付けます。
- __ 12. 実行するアクションについて、オプション 1 (装置の取り外し) を選択します。
- __ 13. 1 分間の遅延時間を設定します (01)。ここでは Enter キーを押さないでください。

注: 交換する磁気ディスク機構の傍らにある、番号の付いた矢印のライトを見つけます。Enter キーを押したら、1 分後にこのライトがオンになり、速く明滅し始めます。9 秒間のうちに、磁気ディスク機構を正しい位置にスライドさせます。

- __ 14. コンソールの Enter キーを押します。
- __ 15. ライトが明滅しはじめたら、磁気ディスク機構を取り外す前に、ハンドルをつまんで手前に引き出します。ハンドルが完全に引き出されていない場合、磁気ディスク機構をスライドさせてシステム装置から取り出すことはできません。
- __ 16. 磁気ディスク機構アセンブリーの底面を支えて、完全に引き出します。ハンドルをつかんで磁気ディスク機構を持たないでください。




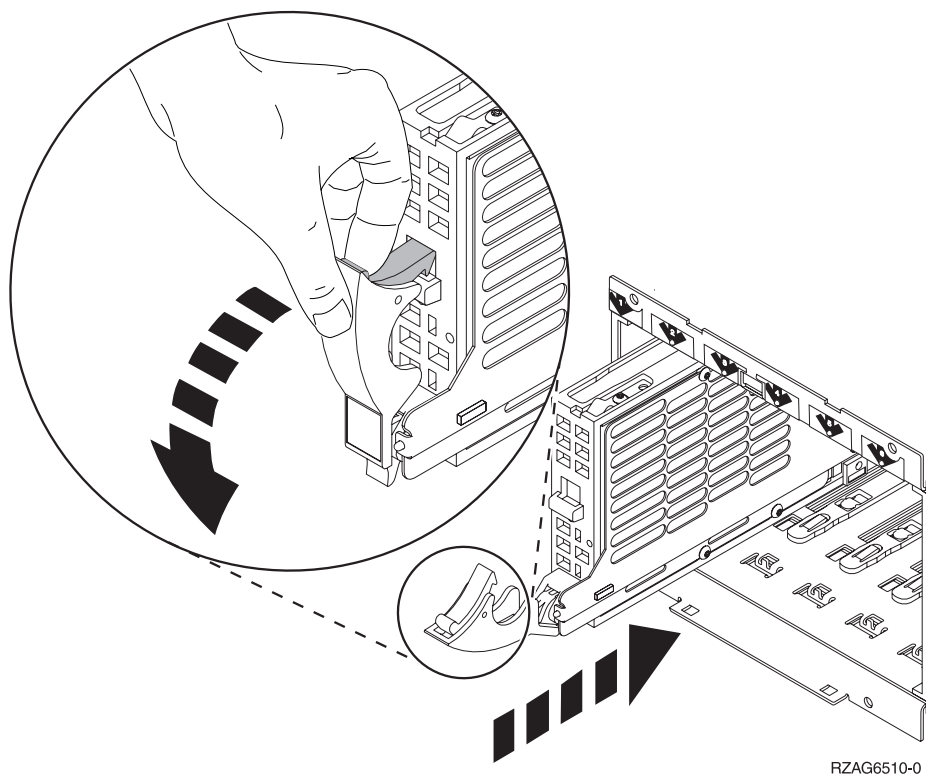
- __ 17. 磁気ディスク機構が取り外されると、ライトの明滅は止まり、オフになります。
- __ 18. コンソールに戻り、「並行保守の結果」画面が表示されるまで待ちます。

F12 を押します。

- __ 19. 新しい磁気ディスク機構アセンブリーが入っているパッケージを用意して、静電気保護パッケージから取り出します。

重要: ディスク機構は壊れやすいため、注意して取り扱ってください。

- __ 20. 磁気ディスク機構を取り付ける前に、ハンドルをつまんで手前に引き出し、ハンドルをアンロックします。ハンドルが完全に引き出されていない場合、磁気ディスク機構をスライドさせてシステム装置または拡張機構に入れることができません。  ビデオをご覧ください。



- __ 21. 磁気ディスク機構アセンブリーの底面を支えて、磁気ディスク機構をシステム装置または拡張機構に半分だけスライドさせて入れます。それ以上は押さないでください。

注: 磁気ディスク機構は 7123、7136、および 7137 磁気ディスク機構格納装置に水平に取り付けます。

- __ 22. この手順のステップ 11 (4 ページ) で入力した物理位置が、通常は、画面上に表示されます。表示されていない場合は、新しい磁気ディスク機構を取り付ける位置の「物理位置」(フレーム ID と位置)を入力します。

たとえば、物理位置: フレーム ID 1 ____ 位置 D06 ____ の場合は、フレーム 1 (基本システム)、磁気ディスク機構位置 6 に磁気ディスク機構を取り付けます。

- __ 23. 実行するアクションについて、オプション 2 (装置の取り付け) を選択します。
 __ 24. 1 分間の遅延時間を設定します (01)。ここでは **Enter** キーを押さないでください。

注: 交換する磁気ディスク機構の傍らにある、番号の付いた矢印のライトを見つけます。Enter キーを押したら、1 分後にこのライトがオンになり、速く明滅し始めます。9 秒間のうちに、磁気ディスク機構を正しい位置にスライドさせます。

- __ 25. コンソールの Enter キーを押します。
 __ 26. ライトが明滅を始めたら、磁気ディスク機構をスライドさせて完全に中に入れ、ラッチを閉じて正しい位置にロックします。
 __ 27. 磁気ディスク機構を正しく取り付けると、ライトの明滅が止まり、点灯したままになります。
 __ 28. コンソールに戻り、「並行保守の結果」画面が表示されるまで待ちます。

Enter キーを押します。

- __ 29. 「ハードウェア保守管理機能」画面が表示されたら、**F3** を押します。
- __ 30. 「システム保守ツール」画面で、「ディスク装置の処理」を選択します。

Enter キーを押します。

- __ 31. 「ディスク装置の処理」画面で、「ディスク装置リカバリーの処理 (**Work with Disk Unit Recovery**)」を選択します。

Enter キーを押します。

- __ 32. 交換した磁気ディスク機構には、**デバイス・パリティ保護 (RAID)** が定義されていますか？

- __ **いいえ:** 交換した磁気ディスク機構には**ミラー保護**が定義されています。ステップ 33 に進みます。

- __ **はい:** 以下の作業を行います。

- __ a. 「ディスク装置リカバリーの処理 (*Work with Disk Unit Recovery*)」画面で、「ディスク装置データの再ビルド (**Rebuild disk unit data**)」を選択します。

Enter キーを押します。

- __ b. 表示されている磁気ディスク機構 (以前取り外した磁気ディスク機構が表示されます) を再ビルドするため、「ディスク装置データの再ビルド (*Rebuild Disk Unit Data*)」画面で **1** を選択します。

Enter キーを押します。

- __ c. 「ディスク装置データ再ビルドの確認 (*Confirm Rebuild Disk Unit Data*)」画面で Enter を押します。再ビルドが完了するには数分間かかります。
- __ d. 磁気ディスク機構のカバーを取り付けます。磁気ディスク機構のカバーのタブをシステム装置のスロットと合わせ、止め金が掛かるまでカバーを押し込みます。
- __ e. システム装置または拡張機構の前面カバーを取り付けるか、閉じます。
- __ f. 「完了パーセント (**Percent complete**)」が 5% になるまで、**F5** を押して画面を最新表示します。
- __ g. 表示されている完了率が 5% になったら、完了するまで画面を監視するか、**F3** (終了) を押して「ディスク装置の処理」画面に戻ることができます。
- __ h. **F3** (終了) を押して、「システム保守ツール」画面に戻ります。
- __ i. **F3** (終了) を押して「**SST** の終了」画面に戻り、Enter キーを押します。

交換の手順が完了しました。

- __ 33. 交換した磁気ディスク機構には**ミラー保護**が定義されています。以下の作業を行います。

- __ a. 「ディスク装置リカバリーの処理 (*Work with Disk Unit Recovery*)」画面で、「構成済み装置の交換 (**Replace configured unit**)」を選択します。

Enter キーを押します。

- __ b. 交換しようとしている構成済み磁気ディスク機構 (サスペンド状態の装置) を「交換する構成済み装置の選択 (*Select Configured Unit to Replace*)」画面で選択します。通常は、選択できる装置は 1 台のみです。

Enter キーを押します。

- __ c. 取り付けたばかりの磁気ディスク機構を「交換装置の選択 (*Select Replacement Unit*)」画面で選択します。この装置は、**非構成** 状態になっています。

注: 新しい磁気ディスク機構が表示されるまで数分かかる場合があります。新しい装置が表示されるまで上記のステップを繰り返してください。

Enter キーを押します。

- __ d. 「構成済み装置交換の確認 (Confirm Replace of Configured Unit)」画面で交換のための選択を確認します。

交換プロセスが完了するには数分間かかります。プロセスが完了したら、「ディスク装置リカバリーの処理 (Work with Disk Unit Recovery)」画面が表示されます。

- __ e. F3 (終了) を押して「ディスク装置の処理」画面に戻ります。
- __ f. 「ディスク装置の処理」画面で、「ディスク構成の表示」を選択します。
- __ g. 「ディスク構成の表示」画面で、「ディスク構成状況の表示」を選択します。

ミラー保護の状態は再開中 になります。完了したら、ミラー保護の状態はアクティブ になります。プロセスが完了するには数分間かかります。完了するまで画面を監視するか、F3 (終了) を繰り返し押して OS/400 メイン・メニューに戻ることができます。

- __ h. 磁気ディスク機構のカバーを取り付けます。磁気ディスク機構のカバーのタブをシステム装置のスロットと合わせ、止め金が掛かるまでカバーを押し込みます。
- __ i. システム装置または拡張機構の前面カバーを取り付けるか、閉じます。

磁気ディスク機構の交換が完了しました。

システムが電源オフの状態での 43xx RAID またはミラー保護磁気ディスク機構の交換

システムが電源オフの状態では磁気ディスク機構を交換するには、以下の作業を行います。


- __ 1. ミラー保護された磁気ディスク機構の場合、システムの電源を切る前に、以下の手順に従って、交換しようとしている磁気ディスク機構がサスペンド状態になっていることを確認してください。
 - __ a. 必ず、少なくとも保守レベルの権限を使用してサインオンしてください。
 - __ b. OS/400 セッションのコマンド行で **strsst** と入力し、Enter キーを押します。
 - __ c. 「保守ツール開始 (STRSST) サインオン」画面で、**保守ツールのユーザー ID** および**保守ツールのパスワード**を入力します。 Enter キーを押します。

注: 保守ツールのパスワードでは、大文字と小文字が区別されます。

- __ d. 「システム保守ツール (SST)」画面で、「ディスク装置の処理」を選択します。 Enter キーを押します。
- __ e. 「ディスク装置の処理」画面で、「ディスク構成の表示」を選択します。 Enter キーを押します。
- __ f. 「ディスク構成の表示」画面で、「ディスク構成状況の表示」を選択します。 Enter キーを押します。
- __ g. 交換しようとしている磁気ディスク機構にミラー化されている元の磁気ディスク機構 (同じ装置番号) の状態はアクティブになっていますか?
 - __ いいえ: 磁気ディスク機構を交換しないでください。 IBM または認可されているサービス元に連絡してください。
 - __ はい: 交換しようとしている磁気ディスク機構の状態はサスペンド状態になっていますか?

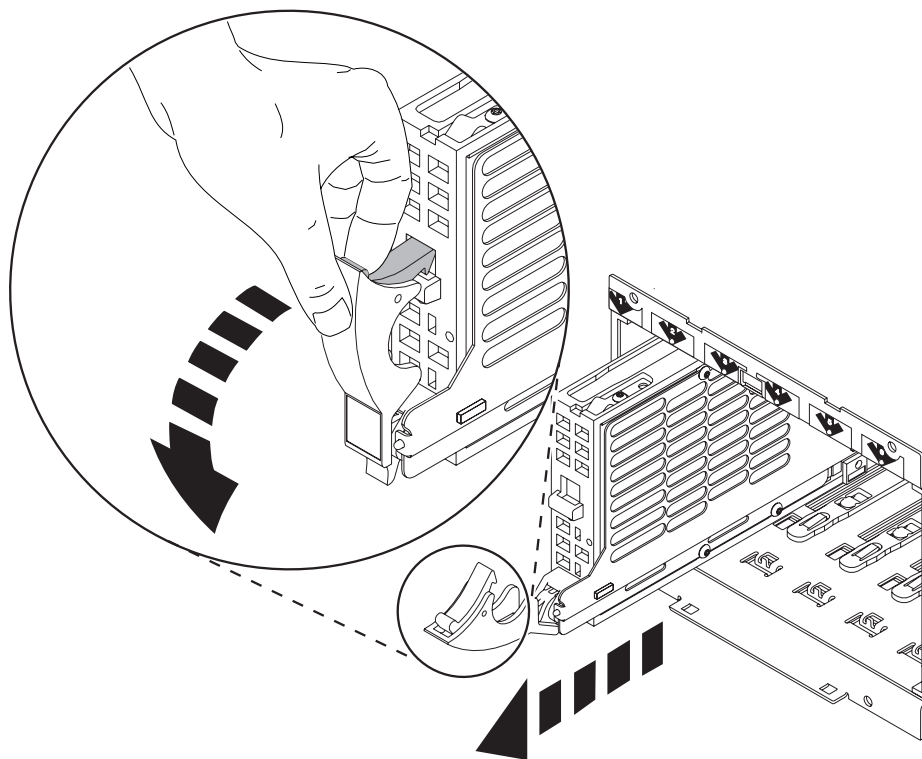
- はい: 次のステップに進みます。
- いいえ: 以下の作業を行って、交換しようとしている磁気ディスク機構に対するミラー保護をサスペンドします。
 - 1) 「ディスク構成の表示」画面で F3 を押して、「ディスク装置の処理」画面に戻ります。
 - 2) 「ディスク装置の処理」画面で、「ディスク装置リカバリーの処理 (Work with Disk Unit Recovery)」を選択します。Enter キーを押します。
 - 3) 「ディスク装置リカバリーの処理 (Work with Disk Unit Recovery)」画面で、「ミラー保護の中断 (Suspend mirrored protection)」を選択します。Enter キーを押します。
 - 4) 「ミラー保護の中断 (Suspend Mirrored Protection)」画面で、交換しようとしている磁気ディスク機構をサスペンドするオプションを選択します。Enter キーを押します。
- 2. F3 を繰り返し押し、システム保守ツールを終了してメイン・メニューに戻ります。
- 3. IXS をオフに変更:
 - a. コマンド行で **WRKCFGSTS** と入力し、「構成状況処理」画面に進みます。F4 を押します。
 - b. 「構成状況処理」画面において、***NWS** を「タイプ」フィールドに入力し、Enter キーを 2 回押します。
 - c. 「構成状況処理」画面において、「オフへの構成変更」オプションを IXS の隣にある *Opt* 欄で選択し、Enter キーを押します。
 - d. F12 を押して、メイン・メニューに戻ります。
- 4. 67 ページの『システム装置の電源オフ』。
- 5. 静電気の放電によりハードウェアが損傷しないように、可能な場合は、使い捨てリスト・バンドを着用してください。使い捨てリスト・バンドがない場合は、ハードウェアの取り付けまたは交換を行う前に、システムまたは拡張機構の金属面に触れてください。

2209 使い捨てリスト・バンドを受け取った場合は、以下の作業を行います。

 - a. 使い捨てリスト・バンドを着用します。  ビデオをご覧ください。
 - b. リスト・バンドを広げる時は、末端に付いている銅フォイルの裏打ちシールをはがします。
 - c. 銅フォイルを、装置のフレームの露出した、塗装されていない金属面に貼り付けます。

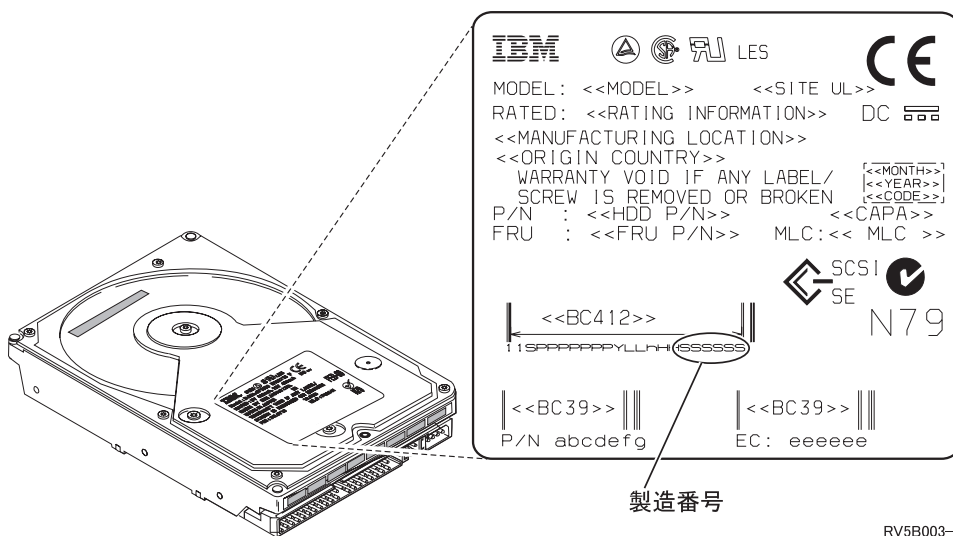
注: リスト・バンドなしで使用する場合と同じ予防措置を行います。2209 使い捨てリスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用することによって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。
- 6. 磁気ディスク機構のカバーを取り外します。ラッチをつまんで引き出します。

注: iSeries 825 には磁気ディスク機構のカバーはありません。
- 7. 交換する磁気ディスク機構の位置を確認します。
- 8. 磁気ディスク機構を取り外す前に、ハンドルをつまんで手前に引き出し、ハンドルをアンロックします。ハンドルが完全に引き出されていない場合、磁気ディスク機構をスライドさせてシステム装置から取り出すことはできません。
- 9. 磁気ディスク機構アセンブリーの底面を支えて、完全に取り出します。ハンドルをつかんで磁気ディスク機構を持たないでください。




RZAG6504-1

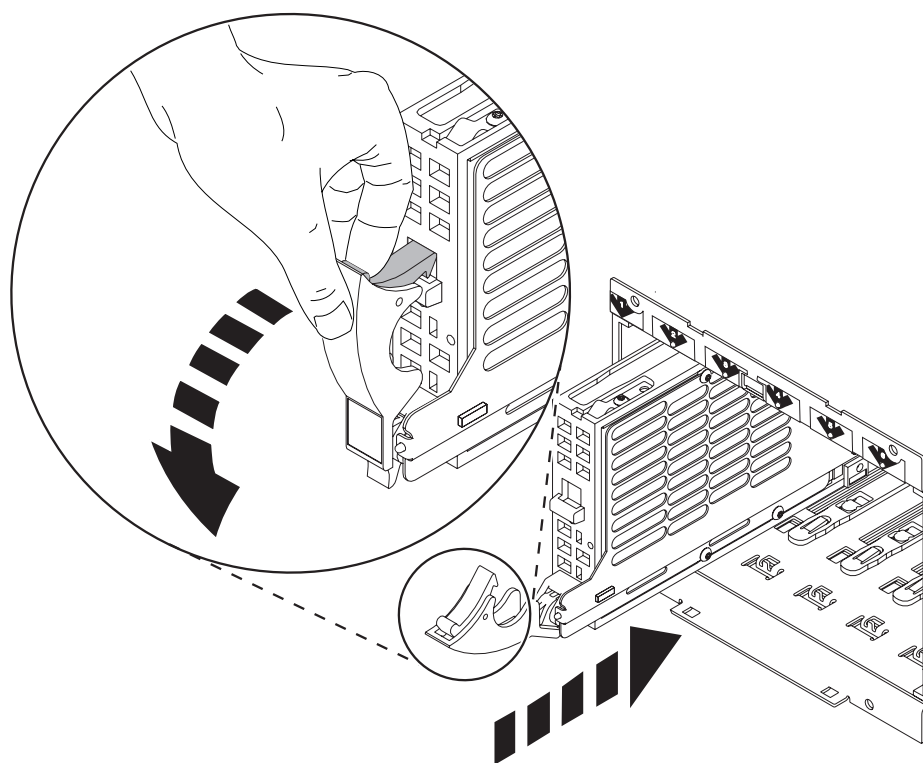
- __ 10. 新しい磁気ディスク機構アセンブリーが入っているパッケージを用意して、静電気保護パッケージから取り出します。磁気ディスク機構を取り付ける前に、磁気ディスク機構の製造番号 (最後の 4 桁) をここに記録します _____。



RV5B003-0

重要: ディスク機構は壊れやすいため、注意して取り扱ってください。

- __ 11. 磁気ディスク機構を取り付ける前に、ハンドルをつまんで手前に引き出します。ハンドルが完全に引き出されていない場合、磁気ディスク機構をスライドさせてシステム装置または拡張機構に入れることができません。ハンドルで磁気ディスク機構を持たないでください。  ビデオをご覧ください。



RZAG6510-0

- __ 12. ハンドルをシステム装置または拡張機構の中にスライドさせて入れる際に、磁気ディスク機構のハンドルが完全に引き出されていることを確認してください。磁気ディスク機構アセンブリーの底面を支えて、磁気ディスク機構を、止まるまでシステム装置または拡張機構の内部に押し込みます。
- __ 13. 磁気ディスク機構のハンドルをクローズして、正しい位置にしっかりロックします。
- __ 14. 磁気ディスク機構のカバーを取り付けます。磁気ディスク機構格納装置のカバーのタブを、システム装置格納装置のスロットと合わせます。止め金が掛かるまでカバーを押し込みます。
- __ 15. 装置の前面カバーを取り付けるか、閉じます。
- __ 16. **危険**

電源コンセントの配線に誤りがあると、システムまたはシステムに接続されている装置の金属部分に高い電圧がかかり危険になりかねません。感電事故防止のため、電源コンセントを正しく配線しコンセントの接地端子を正しく接地する（アース）工事はユーザーの責任で行っていただきます。（RSFTD201）

電源コンセントに以下の電源コードを差し込みます。

- システム装置
- システム装置コンソール
- 拡張機構
- __ 17. すべての接続装置（印刷装置や表示装置など）のプラグを差し込み、電源をオンにします。
- __ 18. ご使用のシステム装置が iSeries 270、800、または 810 である場合には、ステップ 20 (12 ページ) に進みます。
- __ 19. ご使用のシステム装置が、iSeries 820、825、830、840、870、または 890 である場合には、ステップ 22 (12 ページ) に進みます。

__ 20. コントロール・パネルの「機能/データ」画面を見てください。 45 ページの『システム装置のコントロール・パネル』を参照してください。

__ 21. 「機能/データ」画面に **01 B N V=S** と表示されていますか？

__ はい: ステップ 24 に進みます。

__ いいえ: 以下の作業を行います。

__ a. 「機能/データ」画面に **02** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。

__ b. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

__ c. 「機能/データ」画面に **B** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。

__ d. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

__ e. 「機能/データ」画面に **N** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。

__ f. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

__ g. 「機能/データ」画面に **S** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。

__ h. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

__ i. 「機能/データ」画面に **01** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。

__ j. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

「機能/データ」画面に **01 B N S** と表示されるはずですが、表示されない場合は、ステップ 21a ~ 21j を繰り返します。

__ k. ステップ 24 に進みます。

__ 22. コントロール・パネルの「機能/データ」画面を見てください。

__ 23. 「機能/データ」画面に **01 B V=S** と表示されて、通常モード標識 (**OK**) が点灯していますか？

__ はい: 次のステップに進みます。

__ いいえ: 以下の作業を行います。

__ a. 正常モード標識 (**OK**) が点灯するまで、「モード選択」ボタンを押します。

__ b. 「機能/データ」画面に **02** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。

__ c. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

__ d. 「機能/データ」画面に **B** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。

__ e. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

__ f. 「機能/データ」画面に **S** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。

__ g. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

__ h. 「機能/データ」画面に **01** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。

__ i. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

「機能/データ」画面に **01 B S** と表示されるはずですが、このように表示されない場合は、ステップ 23a ~ 23i を繰り返します。

__ 24. コントロール・パネルにある「電源」押しボタンを押します。「電源オン」ライトがオンになるまで約 10 秒かかり、その後「機能/データ」画面にデータが表示されます。

注: システムに電源を入れてから IPL が完了するまでは、数分かかります。IPL が完了すると、システム装置のコンソールに OS/400 サインオン画面が表示されます。

__ 25. 以下の手順で磁気ディスク機構の構成を確認します。

__ a. iSeries セッションのコマンド行で **strsst** と入力し、Enter キーを押します。

- __ b. 「システム保守ツール (SST)」画面で、「ディスク装置の処理」を選択します。Enter キーを押します。
- __ c. 「ディスク装置の処理」画面で、「ディスク装置リカバリーの処理 (Work with Disk Unit Recovery)」を選択します。Enter キーを押します。
- __ d. 交換した磁気ディスク機構には、デバイス・パリティ保護 (RAID) が定義されていますか?
 - __ いいえ: 交換した磁気ディスク機構にはミラー保護が定義されています。ステップ 26 に進みます。
 - __ はい: 以下の作業を行います。
 - __ 1) 「ディスク装置リカバリーの処理 (Work with Disk Unit Recovery)」画面で、「ディスク装置データの再ビルド (Rebuild disk unit data)」を選択します。

Enter キーを押します。
 - __ 2) 表示されている磁気ディスク機構 (以前取り外した磁気ディスク機構が表示されます) を再ビルドするため、「ディスク装置データの再ビルド (Rebuild Disk Unit Data)」画面で **1** を選択します。

Enter キーを押します。
 - __ 3) 「ディスク装置データ再ビルドの確認 (Confirm Rebuild Disk Unit Data)」画面で Enter を押します。再ビルドが完了するには数分かかります。
 - __ 4) 磁気ディスク機構のカバーを取り付けます。磁気ディスク機構のカバーのタブをシステム装置のスロットと合わせ、止め金が掛かるまでカバーを押し込みます。
 - __ 5) システム装置または拡張機構の前面カバーを取り付けるか、閉じます。
 - __ 6) 「完了パーセント (Percent complete)」が 5% になるまで、F5 を押して画面を最新表示します。
 - __ 7) 表示されている完了率が 5% になったら、完了するまで画面を監視するか、F3 (終了) を押して「ディスク装置の処理」画面に戻ることができます。
 - __ 8) F3 (終了) を押して、「システム保守ツール」画面に戻ります。
 - __ 9) F3 (終了) を押して「SST の終了」画面に戻り、Enter キーを押します。

交換の手順が完了しました。

- __ 26. 交換した磁気ディスク機構にはミラー保護が定義されています。以下の作業を行います。
 - __ a. 「ディスク装置リカバリーの処理 (Work with Disk Unit Recovery)」画面で、「構成済み装置の交換 (Replace configured unit)」を選択します。

Enter キーを押します。
 - __ b. 交換しようとしている構成済み磁気ディスク機構 (サスペンド状態の装置) を「交換する構成済み装置の選択 (Select Configured Unit to Replace)」画面で選択します。通常は、選択できる装置は 1 台のみです。

Enter キーを押します。
 - __ c. 取り付けたばかりの磁気ディスク機構を「交換装置の選択 (Select Replacement Unit)」画面で選択します。この装置は、非構成状態になっています。

注: 新しい磁気ディスク機構が表示されるまで数分かかる場合があります。新しい装置が表示されるまで上記のステップを繰り返してください。

Enter キーを押します。

- __ d. 「構成済み装置交換の確認 (Confirm Replace of Configured Unit)」画面で交換のための選択を確認します。

交換プロセスが完了するには数分間かかります。プロセスが完了したら、「ディスク装置リカバリーの処理 (Work with Disk Unit Recovery)」画面が表示されます。

- __ e. F3 (終了) を押して「ディスク装置の処理」画面に戻ります。
- __ f. 「ディスク装置の処理」画面で、「ディスク構成の表示」を選択します。
- __ g. 「ディスク構成の表示」画面で、「ディスク構成状況の表示」を選択します。

ミラー保護の状態は再開中 になります。完了したら、ミラー保護の状態はアクティブ になります。プロセスが完了するには数分間かかります。完了するまで画面を監視するか、F3 (終了) を繰り返し押して OS/400 メイン・メニューに戻ることができます。

- __ h. 磁気ディスク機構のカバーを取り付けます。磁気ディスク機構のカバーのタブをシステム装置のスロットと合わせ、止め金が掛かるまでカバーを押し込みます。
- __ i. システム装置または拡張機構の前面カバーを取り付けるか、閉じます。

磁気ディスク機構の交換が完了しました。

第 3 章 43xx 磁気ディスク機構の取り付け

43xx 磁気ディスク機構を取り付けるには、以下の作業を行います。

注: 本書にある図は、ご使用になるサーバーと多少異なる場合があります。ただし、作業を実行する手順は同じです。

- __ 1. 1 ページの『はじめる前に』 に示されている前提条件の作業を実施します。
- __ 2. 29 ページの『前面カバーの開口と取り外し』。

磁気ディスク機構を取り付ける際に、システムまたは拡張機構の電源をオフにする (非並行) ことも、電源をオンにする (並行) こともできます。

実行する作業の手順を参照してください。

- 15 ページの『システムが電源オンの状態での 43xx 磁気ディスク機構の取り付け』
- 20 ページの『システムが電源オフの状態での 43xx 磁気ディスク機構の取り付け』


システムが電源オンの状態での 43xx 磁気ディスク機構の取り付け

始める前に、電源オン (並行) 手順の複雑さを理解しておく必要があります。並行手順が使いにくい場合は、20 ページの『システムが電源オフの状態での 43xx 磁気ディスク機構の取り付け』に進んでください。

並行取り付けを実行するには、以下の作業を行います。

- __ 1. **静電気の放電によりハードウェアが損傷しないように、可能な場合は、使い捨てリスト・バンドを着用してください。** 使い捨てリスト・バンドがない場合は、ハードウェアの取り付けまたは交換を行う前に、システムまたは拡張機構の金属面に触れてください。

2209 使い捨てリスト・バンドを受け取った場合は、以下の作業を行います。

- __ a. 使い捨てリスト・バンドを着用します。  ビデオをご覧ください。
- __ b. リスト・バンドを広げる時は、末端に付いている銅フォイルの裏打ちシールをはがします。
- __ c. 銅フォイルを、装置のフレームの露出した、塗装されていない金属面に貼り付けます。

注: リスト・バンドなしで使用する場合と同じ予防措置を行います。2209 使い捨てリスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用することによって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。

- __ 2. ご使用のシステム装置または拡張機構に対応した、33 ページの『磁気ディスク機構の位置』を確認します。
- __ 3. 磁気ディスク機構のカバーを取り外します。ラッチをつまんで引き出します。

注: iSeries 825 には磁気ディスク機構のカバーはありません。

- __ 4. システム装置または拡張機構の前面を見て、次に使用できるスロット位置を判別します。拡張機構付きのシステムを使用している場合は、**まずシステム装置のスロット位置が埋められるようにしてください。** 論理区画を使用している場合、特定のロード・ソース磁気ディスク機構の位置については、*Information Center* の『論理区画 計画』に進んでください。

- __ 5. 『詳細: システムが電源オンの状態での 43xx 磁気ディスク機構の取り付け』の手順に従って新しいディスク装置を取り付けます。

詳細: システムが電源オンの状態での 43xx 磁気ディスク機構の取り付け

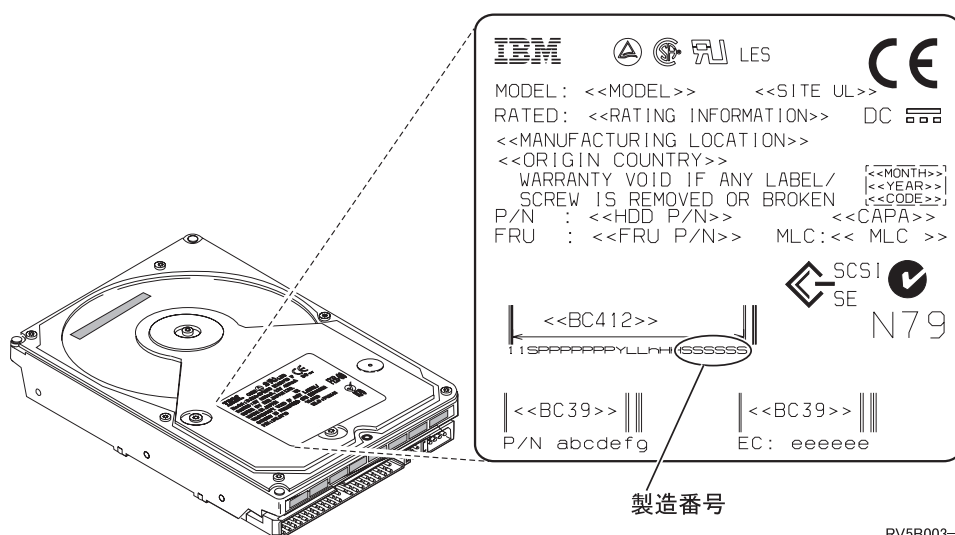
- __ 1. 新しいディスクを取り付ける位置を書き込みます _____ (例: D03)。
- __ 2. 磁気ディスク機構を取り付けるフレーム ID をここに書き込みます _____。この情報は後で必要になります。基本システムのフレーム ID は 1 です。各外付け拡張機構のフレーム ID は、前面の表示パネルに示されています (たとえば、02)。
- __ 3. 必ず、少なくとも保守レベルの権限を使用してサインオンしてください。
- __ 4. iSeries セッションのコマンド行で **strsst** と入力し、Enter キーを押します。
- __ 5. 「システム保守ツール (SST) サインオン」画面で、保守ツールのユーザー ID および保守ツールのパスワードを入力します。Enter キーを押します。
- __ 6. 「システム保守ツール (SST)」画面で、「保守ツールの開始」を選択します。Enter キーを押します。
- __ 7. 「保守ツールの開始」画面で、「ハードウェア保守管理機能」を選択します。Enter キーを押します。
- __ 8. 「ハードウェア保守管理機能」画面で、「装置平行保守」を選択します。Enter キーを押します。
- __ 9. 新しい磁気ディスク機構を取り付ける位置の「物理位置」(フレーム ID と位置) を入力します。この手順のステップ 1 および 2 で記録した位置を参照します。

たとえば、物理位置: フレーム ID 1__ 位置 D06__ の場合は、フレーム 1 (基本システム)、磁気ディスク機構位置 6 に磁気ディスク機構を取り付けます。


- __ 10. オプション 2 を選択します (「実行する処置」の「装置の導入」)。
- __ 11. 1 分間の遅延時間を設定します (01)。ここでは Enter キーを押さないでください。
- __ 12. 新しい磁気ディスク機構アセンブリーが入っているパッケージを用意して、静電気保護パッケージから取り出します。

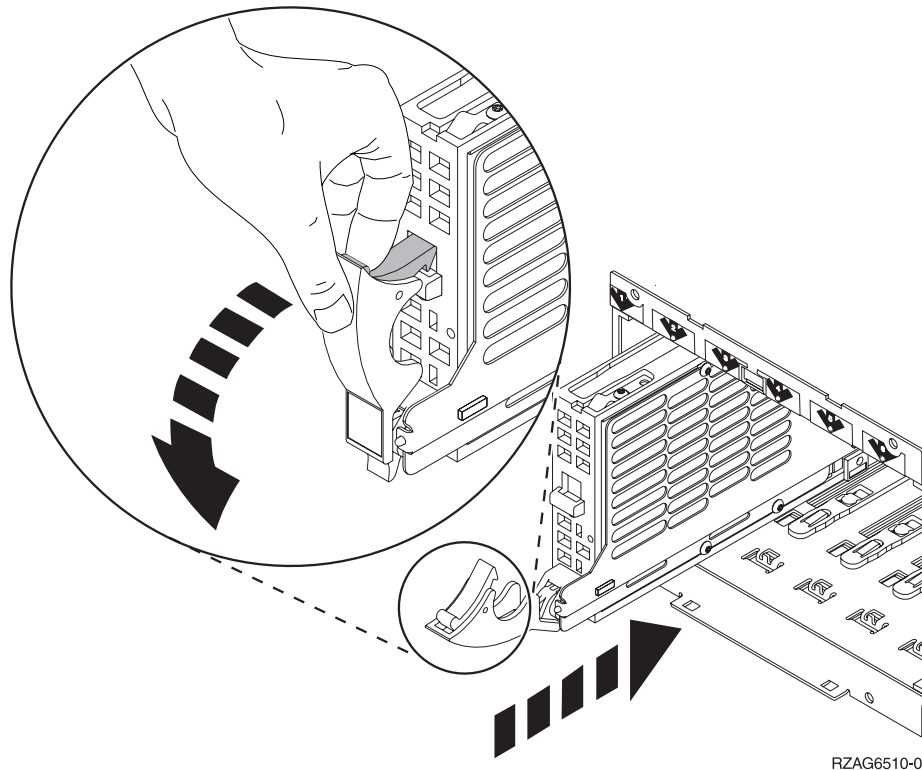
重要: ディスク機構は壊れやすいため、注意して取り扱ってください。

磁気ディスク機構を取り付ける前に、磁気ディスク機構の製造番号 (最後の 4 桁) をここに記録します _____。



RV5B003-0

- __ 13. 磁気ディスク機構を取り付ける前に、ハンドルをつまんで手前に引き出して下げ、ハンドルをアンロックします。ハンドルが完全に下がっていない場合、磁気ディスク機構をスライドさせてシステム装置または拡張機構に入れることができません。  ビデオをご覧ください。



- __ 14. 磁気ディスク機構アセンブリーを支えて、磁気ディスク機構をシステム装置または拡張機構に半分だけスライドさせて入れます。それ以上は押さないでください。

注: 磁気ディスク機構は 7123、7136、および 7137 磁気ディスク機構格納装置に水平に取り付けます。

- __ 15. 取り付ける磁気ディスク機構の傍らにある、番号の付いた矢印のライトの位置を確認します。Enter キーを押したら、1 分後にこのライトがオンになり、速く明滅し始めます。9 秒の間に、磁気ディスク機構を前方に向かって最後までスライドさせ、磁気ディスク機構のハンドルを押し込みます。
- __ 16. コンソールの Enter キーを押します。
- __ 17. ライトが明滅を始めたら、磁気ディスク機構をスライドさせて完全に中に入れ、ラッチを閉じて正しい位置にロックします。
- __ 18. 磁気ディスク機構を正しく取り付けると、ライトの明滅が止まり、点灯したままになります。
- __ 19. コンソールに戻り、「並行保守の結果」画面が表示されるまで待ちます。

Enter キーを押します。

- __ 20. 取り付ける磁気ディスク機構が他にありますか?
- __ いいえ: 次のステップに進みます。
- __ はい: システム装置または拡張機構の前面を見て、次に取り付ける位置を決めます。ステップ 8 (16 ページ) ~ 19 を繰り返して、次の磁気ディスク機構を取り付けます。
- __ 21. 「ハードウェア保守管理機能」画面が表示されたら、**F12** を押します。

__ 22. 「システム保守ツール」画面で、「ディスク装置の処理」を選択します。

Enter キーを押します。

__ 23. 「ディスク装置の処理」画面で、「ディスク構成の表示」を選択します。

Enter キーを押します。

__ 24. 「ディスク構成の表示」画面で、「非構成装置の表示」を選択します。

Enter キーを押します。

__ 25. 取り付けした磁気ディスク機構がリストされています。製造番号は、ステップ 12 (16 ページ) で書き込んだ製造番号と一致する必要があります。


注: 新規磁気ディスク機構がリストに表示されるまでには 5 分ほどかかることがあります。磁気ディスク機構がリストにない場合は、その磁気ディスク機構が適切に取り付けられているか確認してください。 15 ページの『システムが電源オンの状態での 43xx 磁気ディスク機構の取り付け』のステップ 1 ~ 19 (17 ページ) を繰り返します。

__ 26. F12 を 2 回押します。

__ 27. 「ディスク装置の処理」画面で、「ディスク構成の処理」を選択します。

Enter キーを押します。

__ 28. 既存の装置パリティ・セットに磁気ディスク機構を追加しますか? 装置パリティの詳細情報は、

「バックアップおよび回復の手引き」  を参照してください。

__ はい: 次のステップに進みます。

__ いいえ: 装置パリティ・セットを開始しますか?

__ はい: *Information Center* の『装置パリティ保護』に進みます。

__ いいえ: ステップ 46 (19 ページ) に進みます。

__ 29. 「ディスク構成の処理」画面で、「装置パリティ保護への装置の組み込み」を選択します。

Enter キーを押します。

__ 30. 「装置パリティ保護の組み込みが失敗」画面が表示されましたか?

__ はい: 次のステップに進みます。

__ いいえ: ステップ 34 (19 ページ) に進みます。

__ 31. 装置パリティ保護を開始するには、その前に以下の条件が満たされている必要があります。さまざまな理由で、装置パリティ保護への磁気ディスク機構の組み込みに失敗する場合があります。

- 新規パリティ・セットの作成に十分な磁気ディスク機構が存在する場合、磁気ディスク機構は装置パリティ保護の開始 操作の対象になり、装置パリティ保護の組み込み 操作の対象には

なりません。詳しい情報は、「バックアップおよび回復の手引き」  を参照してください。

- パリティ・セット内の磁気ディスク機構の容量はすべて同じでなければならない、作成するパリティ・セットに含まれる磁気ディスク機構の数は、磁気ディスク機構タイプによって、最少 3 台または 4 台、最大 10 台または 18 台です。

- 拡張機能入出力プロセッサに接続された磁気ディスク機構が、すべてシステムに報告されていない。操作を再試行してください。

- 磁気ディスク機構のタイプ/型式が、要求された操作をサポートしていなければならない。

__ 32. 上記の条件が満たされている場合は、F12 を選択して「ディスク構成の処理」画面に戻ります。

__ 33. 「ディスク構成の処理」画面で、「装置パリティ保護への装置の組み込み」を選択します。

Enter キーを押します。

__ 34. 装置パリティ保護に組み込む磁気ディスク機構を選択します。「装置パリティ保護への装置の組み込み」画面の「OPT」列に、**1** と入力します。

Enter キーを押します。

__ 35. 選択内容を確認するためにEnter キーを押します。構成が始まり、完了までに 30 分 ~ 60 分かかります。

__ 36. 装置パリティ保護が完了すると、「選択した装置は正常に組み込まれました。」というメッセージが「ディスク構成の処理」画面に表示されます。

__ 37. 「ディスク構成の処理」画面で、「ディスク構成の表示」を選択して Enter キーを押します。

__ 38. 「ディスク構成の表示」画面で、「ディスク構成状況の表示」を選択して Enter キーを押します。

__ 39. 補助記憶域プール (ASP) が複数ある場合は、磁気ディスク機構に追加する ASP を決定します。

__ 40. F12 を 2 回押します。

__ 41. 「ディスク構成の処理」画面で、「ASP への装置の追加およびデータのバランス」を選択します。

Enter キーを押します。

__ 42. 「装置を追加する ASP の指定」画面で、ステップ 39 で決定した ASP を指定します。

Enter キーを押します。

__ 43. 「装置の追加の確認」画面が表示され、追加操作が完了したときのシステムの構成が示されます。

注: ASP の選択を間違えた場合は、F12 を押してオプションを変更します。

Enter キーを押して処理を続けます。追加プロセスの完了には数分間かかります。

__ 44. 「選択された装置は正常に追加されました。」というメッセージが表示されたら、「メインメニュー」に戻ります。(F3 を 3 回押して、Enter キーを押します。)

__ 45. ステップ 54 (20 ページ) に進みます。

__ 46. 「ディスク構成の処理」画面で、「ディスク構成の表示」を選択します。

Enter キーを押します。

__ 47. 「ディスク構成の表示」画面で、「ディスク構成状況の表示」を選択します。

Enter キーを押します。

__ 48. 補助記憶域プール (ASP) が複数ある場合は、磁気ディスク機構に追加する ASP を決定します。

__ 49. F12 を 2 回押します。

__ 50. 「ディスク構成の処理」画面で、「ASP への装置の追加」を選択します。

Enter キーを押します。

__ 51. 磁気ディスク機構を追加する先の ASP の番号を指定します。システム ASP は **ASP 1** です。

Enter キーを押します。

注:

- a. 磁気ディスク機構の偶数番号がミラー保護されている ASP に追加されると、それらの番号は自動的にミラー保護になります。


- b. ASP がミラー保護されている場合は、磁気ディスク機構は対にして追加しなければなりません。
- __ 52. 「装置の追加の確認」画面が表示され、追加操作が完了したときのシステムの構成が示されます。
- 注: ASP の選択を間違えた場合は、F12 を押してオプションを変更します。
Enter キーを押して処理を続けます。追加プロセスの完了には数分間かかります。
- __ 53. 「選択された装置は正常に追加されました。」というメッセージが表示されたら、「メインメニュー」に戻ります。(F3 を 3 回押して、Enter キーを押します。)
- __ 54. 磁気ディスク機構のカバーを取り付けます。磁気ディスク機構のカバーのタブをシステム装置のスロットと合わせ、止め金が掛かるまでカバーを押し込みます。
- __ 55. システム装置または拡張機構の前面カバーを取り付けるか、閉じます。
- __ 56. 印刷装置がある場合は、構成リストを印刷します。サービス技術員が後で構成リストを参照することがあります。
- __ a. 保守権限を使用してサインオンしている必要があります。
- __ b. 「メインメニュー」のコマンド行で、 **strsst** と入力して Enter キーを押します。
- __ c. 「システム保守ツール (SST) のサインオン」画面で、 **保守ツール・ユーザー ID** と **保守ツール・パスワード** を入力して、Enter キーを押します。
- __ d. 「システム保守ツール (SST)」画面で「**保守ツールの開始**」を選択して、Enter キーを押します。
- __ e. 「**保守ツールの開始**」画面で、「**ハードウェア保守管理機能**」を選択して Enter キーを押します。
- __ f. 「**ハードウェア保守管理機能**」画面で、F6 (構成の印刷) を押します。
- __ g. 「メインメニュー」に戻るために、F3 (終了) を 2 回押して Enter キーを押します。
- __ h. 構成リストは、後で参照できる場所に保管しておきます。
- __ 57. 磁気ディスク機構の取り付けが完了しました。
- __ 58. 磁気ディスク機構構成については、 *Information Center* の『ディスク管理』を参照してください。

システムが電源オフの状態での 43xx 磁気ディスク機構の取り付け

非並行取り付けを実行するには、以下の作業を行います。

- __ 1. システム電源がオンの場合、電源を切ります。手順については、67 ページの『システム装置の電源オフ』を参照してください。
- __ 2. 静電気の放電によりハードウェアが損傷しないように、可能な場合は、使い捨てリスト・バンドを着用してください。使い捨てリスト・バンドがない場合は、ハードウェアの取り付けまたは交換を行う前に、システムまたは拡張機構の金属面に触れてください。

2209 使い捨てリスト・バンドを受け取った場合は、以下の作業を行います。

- __ a. 使い捨てリスト・バンドを着用します。  ビデオをご覧ください。
- __ b. リスト・バンドを広げる時は、末端に付いている銅フォイルの裏打ちシールをはがします。
- __ c. 銅フォイルを、装置のフレームの露出した、塗装されていない金属面に貼り付けます。

注: リスト・バンドなしで使用する場合と同じ予防措置を行います。2209 使い捨てリスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用することによって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。

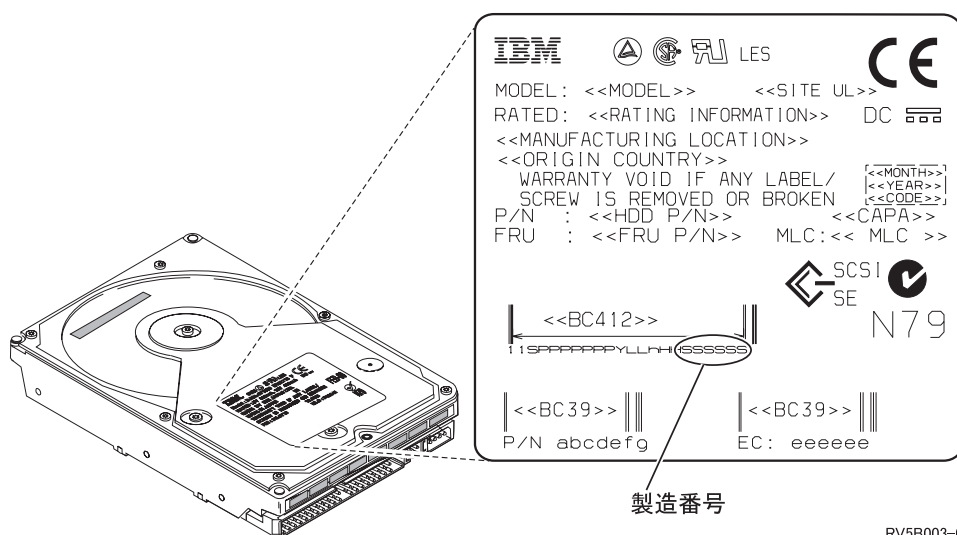
- __ 3. ご使用のシステム装置または拡張機構に対応した、 33 ページの『磁気ディスク機構の位置』を確認します。
- __ 4. 磁気ディスク機構のカバーを取り外します。ラッチをつまんで引き出します。

注: iSeries 825 では、磁気ディスク機構のカバーを使用しません。
- __ 5. システム装置または拡張機構の前面を見て、次に使用できるスロット位置を判別します。拡張機構付きのシステムを使用している場合は、まずシステム装置のスロット位置が順序どおり埋められるようにしてください。論理区画を使用している場合、特定のロード・ソース磁気ディスク機構の位置については、*Information Center* の『論理区画 計画』に進んでください。
- __ 6. 『詳細: システムが電源オフの状態での 43xx 磁気ディスク機構の取り付け』の手順に従って新しいディスク装置を取り付けます。

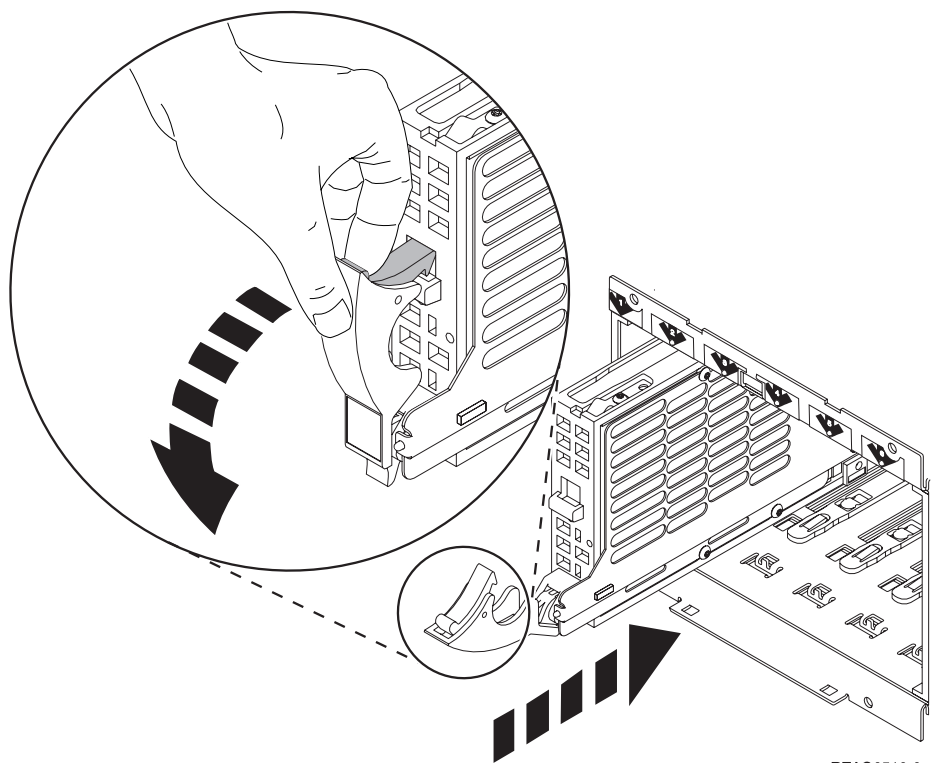
詳細: システムが電源オフの状態での 43xx 磁気ディスク機構の取り付け

重要: ディスク機構は壊れやすいため、注意して取り扱ってください。

- __ 1. 新しい磁気ディスク機構アセンブリーが入っているパッケージを用意して、静電気保護パッケージから取り出します。磁気ディスク機構を取り付ける前に、磁気ディスク機構の製造番号 (最後の 4 桁) をここに書き込みます _____。



- __ 2. 磁気ディスク機構を取り付ける前に、ハンドルをつまんで手前に引き出して下げます。ハンドルが完全に下がっていない場合、磁気ディスク機構をスライドさせてシステム装置または拡張機構に入れることができません。 ビデオをご覧ください。



RZAG6510-0

- ___ 3. 磁気ディスク機構を前方に最後までスライドさせ、システム装置または拡張機構の内部に押し込む際には、磁気ディスク機構アセンブリーの底部を支えます。ハンドルで磁気ディスク機構を持たないでください。
- ___ 4. 次に使用可能なスロットに磁気ディスク機構アセンブリーの位置を合わせ、システム装置または拡張機構の中に止まるまでスライドさせて入れます。ハンドルをシステム装置または拡張機構の中にスライドさせて入れる際に、ハンドルが完全に引き出されていることを確認してください。
- ___ 5. 磁気ディスク機構のハンドルをクローズして、正しい位置にしっかりロックします。
- ___ 6. 取り付ける磁気ディスク機構が他にありますか？
 - ___ いいえ: 次のステップに進みます。
 - ___ はい: この作業を繰り返して、次の磁気ディスク機構を取り付けます。
- ___ 7. 磁気ディスク機構のカバーを取り付けます。磁気ディスク機構格納装置のカバーのタブを、システム装置格納装置のスロットと合わせます。止め金が掛かるまでカバーを押し込みます。
- ___ 8. 取り付けるアダプター・カードまたは機構がまだ他にありますか？
 - ___ いいえ: 次のステップに進みます。
 - ___ はい: 取り付ける機構 (たとえば、アダプター・カード、テープ機構、またはメモリー・カード) がまだ他にもある場合は、その機構に付属している説明書を参照してください。
- ___ 9. 使い捨てリスト・バンドを取り外します。
- ___ 10. 装置の前面カバーを取り付けるか、閉じます。

__ 11. 危険

電源コンセントの配線に誤りがあると、システムまたはシステムに接続されている装置の金属部分に高い電圧がかかり危険になりかねません。感電事故防止のため、電源コンセントを正しく配線しコンセントの接地端子を正しく接地する（アース）工事はユーザーの責任で行っていただきます。（RSFTD201）

電源コンセントに以下の電源コードを差し込みます。

- システム装置
- システム装置コンソール
- 拡張機構

__ 12. すべての接続装置（印刷装置や表示装置など）のプラグを差し込み、電源をオンにします。

__ 13. ご使用のシステム装置が iSeries 270、800、または 810 である場合には、ステップ 15 に進みません。

__ 14. ご使用のシステム装置が、iSeries 820、825、830、840、870、または 890 である場合には、ステップ 18 (24 ページ) に進みます。

__ 15. コントロール・パネルの「機能/データ」画面を見てください。 45 ページの『システム装置のコントロール・パネル』を参照してください。

__ 16. 直前に 7104 または 7116 拡張機構を取り付けましたか？

__ いいえ: 次のステップに進みます。

__ はい: 以下の作業を行います。

__ a. 「機能/データ」画面に **02** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。

__ b. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

__ c. 「機能/データ」画面に **B** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。

__ d. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

__ e. 「機能/データ」画面に **M** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。

__ f. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

__ g. 「機能/データ」画面に **S** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。

__ h. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

__ i. 「機能/データ」画面に **07** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。

__ j. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

__ k. 「機能/データ」画面に **07A9** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。

__ l. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

__ m. 「機能/データ」画面に **0701** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。

__ n. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

__ o. ステップ 1 (47 ページ) で指定したプロセッサのタイプに応じて、ステップ 16p の構成 ID は 0795 または 0796 となります。

__ 2248、2250、または 2422 プロセッサ: 0795

__ その他のプロセッサ: 0796

__ p. 「機能/データ」画面に **0795 または 0796** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。

__ q. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

「機能/データ」画面に **01 B M V=F** と表示されます。表示されない場合は、ステップ 16a (23 ページ) ~ 16q (23 ページ) を繰り返します。

__r. ステップ 20 に進みます。

__ 17. 「機能/データ」画面に **01 B M V=S** と表示されていますか？

__ はい: ステップ 20 に進みます。

__ いいえ: 以下の作業を行います。

__ a. 「機能/データ」画面に **02** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。

__ b. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

__ c. 「機能/データ」画面に **B** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。

__ d. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

__ e. 「機能/データ」画面に **M** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。

__ f. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

__ g. 「機能/データ」画面に **S** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。

__ h. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

__ i. 「機能/データ」画面に **01** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。

__ j. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

「機能/データ」画面に **01 B M S** と表示されます。表示されない場合は、ステップ 17a ~ 17j を繰り返します。

__ k. ステップ 20 に進みます。

__ 18. コントロール・パネルの「機能/データ」画面を見てください。

__ 19. 「機能/データ」画面に **01 B V=S** が表示されて、手動モード・インディケータ (小さい手) が点灯しましたか？

__ はい: 次のステップに進みます。

__ いいえ: 以下の作業を行います。

__ a. 手動モード・インディケータ (小さい手のマーク) が点灯するまで、「モード選択」ボタンを押します。

__ b. 「機能/データ」画面に **02** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。

__ c. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

__ d. 「機能/データ」画面に **B** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。

__ e. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

__ f. 「機能/データ」画面に **S** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。

__ g. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

__ h. 「機能/データ」画面に **01** が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。

__ i. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

「機能/データ」画面に **01 B S** と表示されるはずですが、このように表示されない場合は、ステップ 19a ~ 19i を繰り返します。

__ 20. iSeries コントロール・パネルにある「電源」押しボタンを押します。「電源オン」ライトがオンになるまで約 10 秒かかり、その後「機能/データ」画面にデータが表示されます。

注: システムに電源を入れてから IPL が完了するまでは、およそ 5 ～ 10 分かかります。IPL が完了すると、システム装置のコンソールに「システムの IPL または導入」画面が表示されます。

__ 21. 以下の手順で磁気ディスク機構の構成を確認します。

__ a. 「システムの IPL または導入」画面が表示されたら、「専用保守ツール (DST) の使用」を選択します。

Enter キーを押します。

__ b. DST のユーザー ID とパスワードを入力します。

Enter キーを押します。

__ c. 「専用保守ツール (DST) の使用」画面で、「ディスク装置の処理」を選択します。

Enter キーを押します。

__ d. 「ディスク装置の処理」画面で、「ディスク構成の処理」を選択します。

Enter キーを押します。

__ e. 「ディスク構成の処理」画面で、「ディスク構成の表示」を選択します。

Enter キーを押します。

__ f. 「ディスク構成の表示」画面で、「非構成装置の表示」を選択します。

Enter キーを押します。

__ g. 取り付けた磁気ディスク機構がリストされています。製造番号は、ステップ 1 (21 ページ) で書き込んだ製造番号と一致している必要があります。

注: 磁気ディスク機構がリストにない場合は、その磁気ディスク機構が適切に取り付けられているか確認してください。

__ h. 「ディスク構成の処理」画面に戻ります (F12 を 2 度押します)。

__ 22. 既存の装置パリティ・セットに磁気ディスク機構を追加しますか? 装置パリティの詳細情報は、

「バックアップおよび回復の手引き」  を参照してください。

__ はい: 次のステップに進みます。

__ いいえ: 装置パリティ・セットを開始しますか?

__ はい: Information Center の『装置パリティ保護』に進みます。

__ いいえ: ステップ 41 (26 ページ) に進みます。

__ 23. 「ディスク構成の処理」画面で、「装置パリティ保護の処理」を選択します。

Enter キーを押します。


__ 24. 「装置パリティ保護への装置の組み込み」画面で、「装置パリティ保護への装置の組み込み」を選択します。

Enter キーを押します。

__ 25. 「装置パリティ保護の組み込みが失敗」画面が表示されましたか?

__ はい: 次のステップに進みます。

__ いいえ: ステップ 28 (26 ページ) に進みます。

- __ 26. 装置パリティ保護を開始するには、その前に以下の条件が満たされている必要があります。さまざまな理由で、装置パリティ保護への磁気ディスク機構の組み込みに失敗する場合があります。
- 新規パリティ・セットの作成に十分な磁気ディスク機構が存在する場合、磁気ディスク機構は**装置パリティ保護の開始操作の対象になり、装置パリティ保護の組み込み操作の対象にはなりません。**詳しい情報は、「バックアップおよび回復の手引き」 を参照してください。
 - パリティ・セット内の磁気ディスク機構の容量はすべて同じでなければならず、作成するパリティ・セットに含まれる磁気ディスク機構の数は、磁気ディスク機構タイプによって、**最少 3 台または 4 台、最大 10 台または 18 台**です。
 - 拡張機能入出力プロセッサに接続された磁気ディスク機構が、すべてシステムに報告されていない。操作を再試行してください。
 - 磁気ディスク機構のタイプ/型式が、要求された操作をサポートしていない。
- __ 27. 上記の条件が満たされている場合は、F12 を 2 回押して「ディスク構成の処理」画面に戻ります。
- __ 28. 「装置パリティ保護への磁気ディスク機構の組み込み」画面で、装置パリティ保護に組み込む磁気ディスク機構を選択します。「OPT」列に **1** を入力します。
- Enter キーを押します。
- __ 29. 選択内容を確認するためにEnter キーを押します。構成が始まり、完了までに 30 分 ~ 60 分かかります。
- __ 30. 装置パリティ保護が完了すると、「選択された装置は正常に組み込まれました」というメッセージが「装置パリティ保護の処理」画面に表示されます。
- F12 を押します。
- __ 31. 「ディスク構成の処理」画面で、「ディスク構成の表示」を選択します。
- Enter キーを押します。
- __ 32. 「ディスク構成の表示」画面で、「ディスク構成状況の表示」を選択します。
- __ 33. 補助記憶域プール (ASP) が複数ある場合は、磁気ディスク機構に追加する ASP を決定します。
- __ 34. F12 を 2 回押します。
- __ 35. 「ディスク構成の処理」画面で、「ASP 構成の処理」を選択します。
- Enter キーを押します。
- __ 36. 「ASP 構成の処理」画面で、「ASP への装置の追加」を選択します。
- Enter キーを押します。
- __ 37. 「装置を追加する ASP の指定」画面で、ステップ 33 で決定した ASP を指定します。
- Enter キーを押します。
- __ 38. 確認のためにEnter キーを押します。
- __ 39. 「選択された装置は正常に追加されました。」というメッセージが表示されたら、F3 を 3 回押してから Enter キーを押して「メインメニュー」に戻ります。
- __ 40. ステップ 45 (27 ページ) に進みます。
- __ 41. 「ディスク構成の処理」画面で、「ASP 構成の処理」を選択して Enter キーを押します。
- __ 42. 「ASP 構成の処理」画面で、「ASP への装置の追加」を選択します。
- Enter キーを押します。

__ 43. 磁気ディスク機構を追加する先の ASP の番号を指定します。システム ASP は **ASP 1** です。

Enter キーを押します。

注:

- a. 磁気ディスク機構の偶数番号がミラー保護されている ASP に追加されると、それらの番号は自動的にミラー保護になります。
- b. ASP がミラー保護されている場合は、磁気ディスク機構は対にして追加しなければなりません。

__ 44. 「装置の追加の確認」画面が表示され、追加操作が完了したときのシステムの構成が示されます。

注: ASP の選択を間違えた場合は、F12 を押してオプションを変更します。

Enter キーを押して処理を続けます。追加プロセスの完了には数分間かかります。

__ 45. F12 を 3 回押して、「専用保守ツール (DST) の使用」画面に戻ります。

__ 46. 「専用保守ツール (DST) の使用」画面で、「**IPL の実行**」を選択します。

Enter キーを押します。

__ 47. 印刷装置がある場合は、構成リストを印刷します。サービス技術員が後で構成リストを参照することがあります。

__ a. 保守権限を使用してサインオンする必要があります。

__ b. 「メインメニュー」のコマンド行で、**strsst** と入力します。

Enter キーを押します。

__ c. 「システム保守ツール (SST) サインオン」画面で、**保守ツールのユーザー ID および保守ツールのパスワード**を入力します。

Enter キーを押します。

__ d. 「システム保守ツール (SST)」画面で、「**保守ツールの開始**」を選択します。

Enter キーを押します。

__ e. 「**保守ツールの開始**」画面で、「**ハードウェア保守管理機能**」を選択します。

Enter キーを押します。

__ f. 「**ハードウェア保守管理機能**」画面で、F6 (構成の印刷) を押します。

__ g. 「メインメニュー」に戻るために、F3 (終了) を 2 回押してから、Enter キーを押します。

__ h. 構成リストは、後で参照できる場所に保管しておきます。

__ 48. 磁気ディスク機構の取り付けが完了しました。


__ 49. 磁気ディスク機構を作動可能にする方法については、*Information Center* の『ディスク管理』を参照してください。

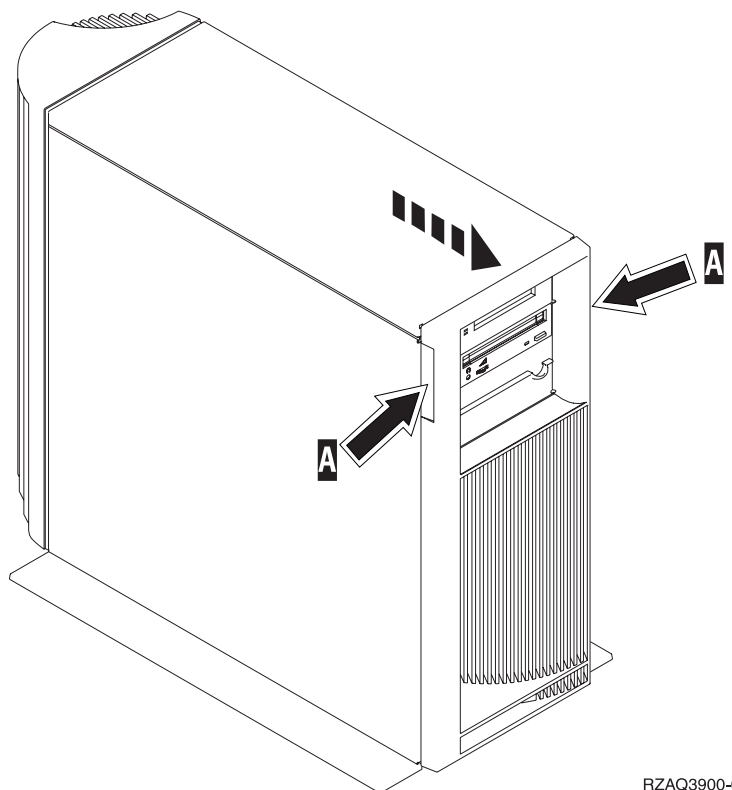
前面カバーの開口と取り外し

ご使用の装置を選択してください。

- 29 ページの『270、800、810、820、または 5075 の全面カバー』
- 31 ページの『ラック内の 270、800、または 810』
- 30 ページの『825 の前面カバー』
- 32 ページの『830、840、870、890、5074、5079、5094、または 5095』


270、800、810、820、または 5075 の全面カバー

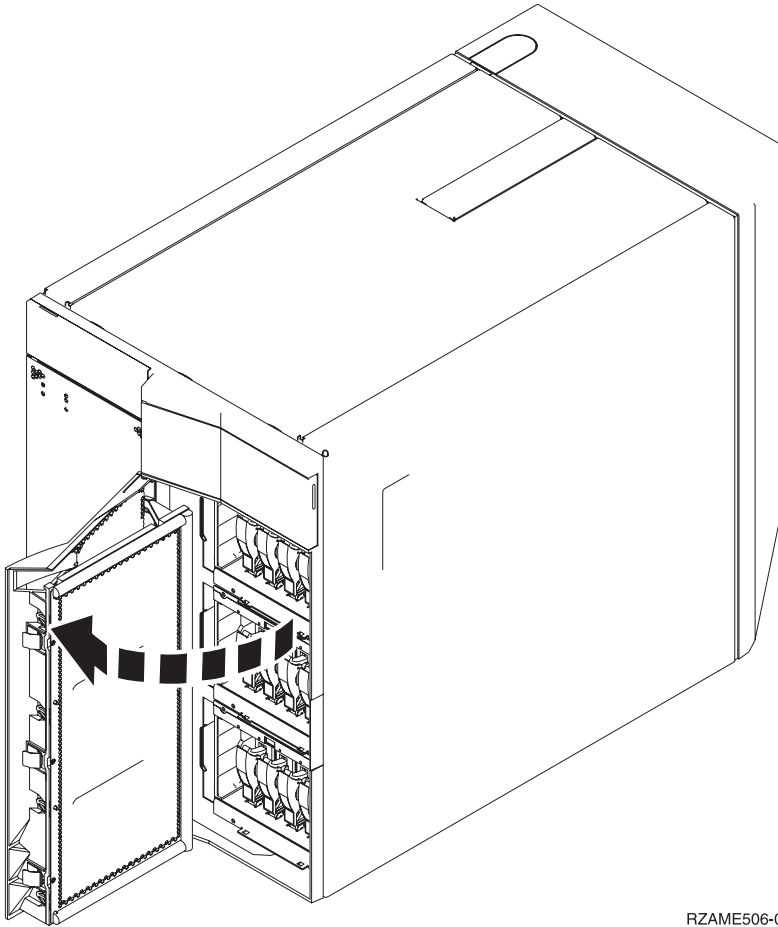
システム装置または拡張機構の前面カバーを取り外すときは、カバー **A** の両端をつかみ、カバーを手前に引きます。  ビデオをご覧ください。



RZAQ3900-0

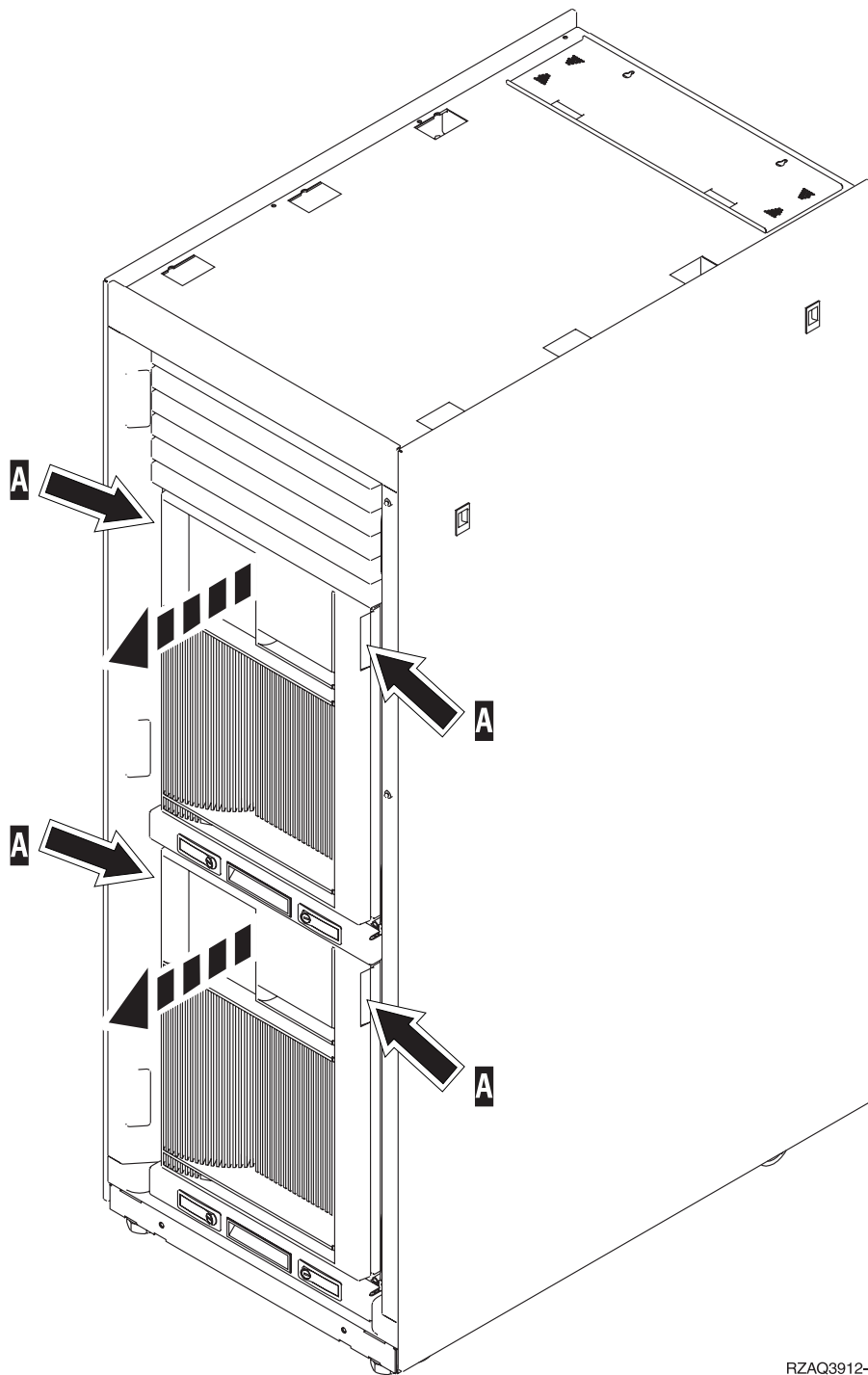
825 の前面カバー

カバーの両端をつかみ、カバーを手前に引いて、前面カバーを取り外します。  ビデオをご覧ください。



RZAME506-0

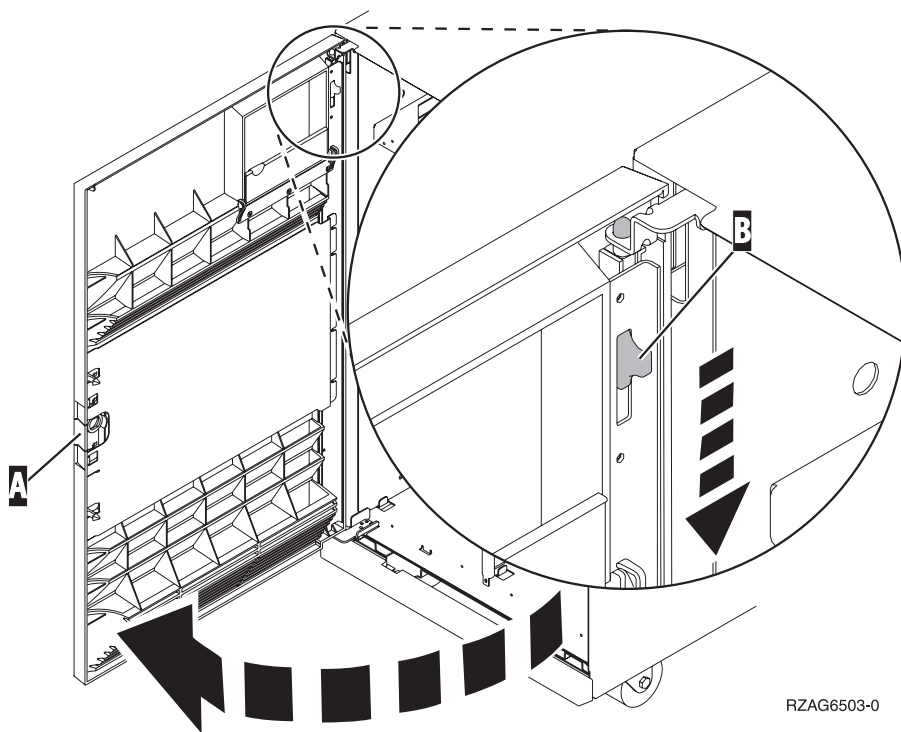
ラック内の 270、800、または 810



RZAQ3912-0

830、840、870、890、5074、5079、5094、または 5095

A を使用して、前面カバーを開きます。必要に応じて、ラッチ **B** を使用して前面カバーを取り外します。



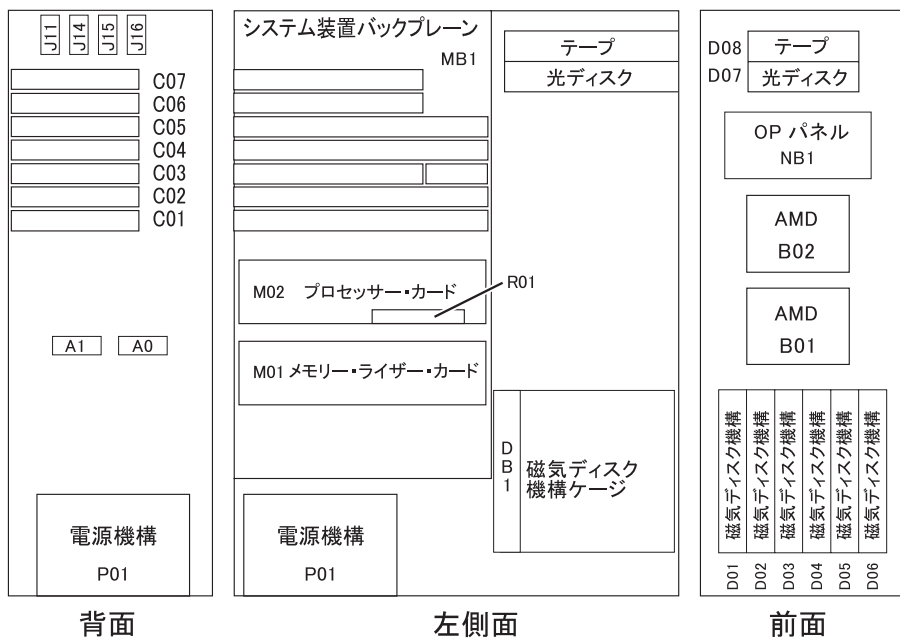
RZAG6503-0

磁気ディスク機構の位置

以下のリストでシステム装置または拡張機構を指定して、磁気ディスク機構の位置を確認してください。論理区画を使用している場合、特定のロード・ソース磁気ディスク機構の位置については、*Information Center* の『論理区画 計画』に進んでください。

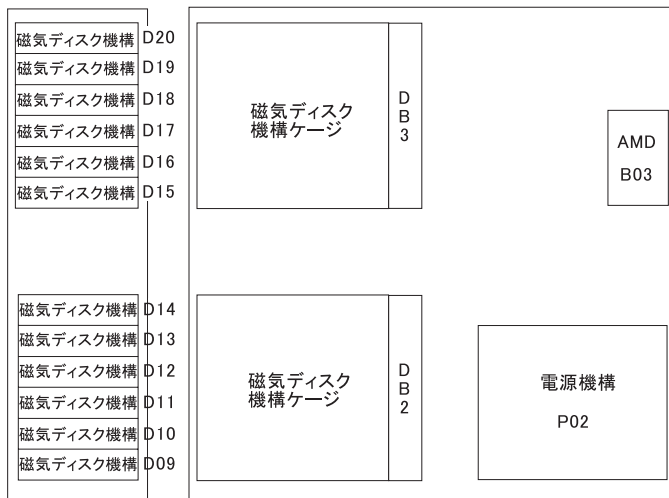
- 33 ページの『270、800、または 810 システム装置』
- 34 ページの『7104 または 7116 拡張機構』
- 35 ページの『820 システム装置』
- 36 ページの『825 システム装置』
- 37 ページの『830 システム装置』
- 38 ページの『840 システム装置』
- 39 ページの『870 および 890 システム装置』
- 40 ページの『5065、5074、および 5094 拡張機構』
- 41 ページの『5075 および 5095 拡張機構』
- 42 ページの『5079 および 5294 拡張機構』

270、800、または 810 システム装置



RZAQ2502-7

7104 または 7116 拡張機構

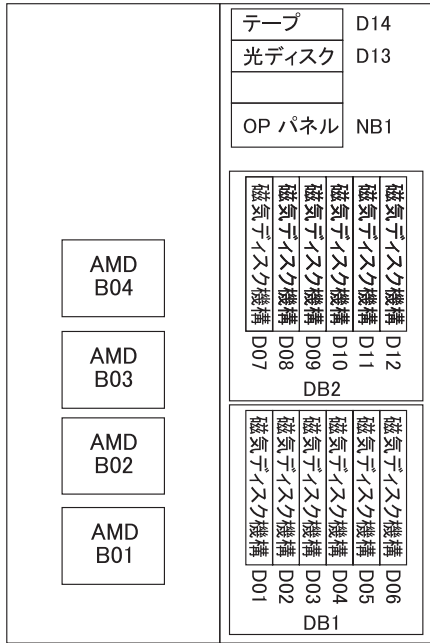


前面

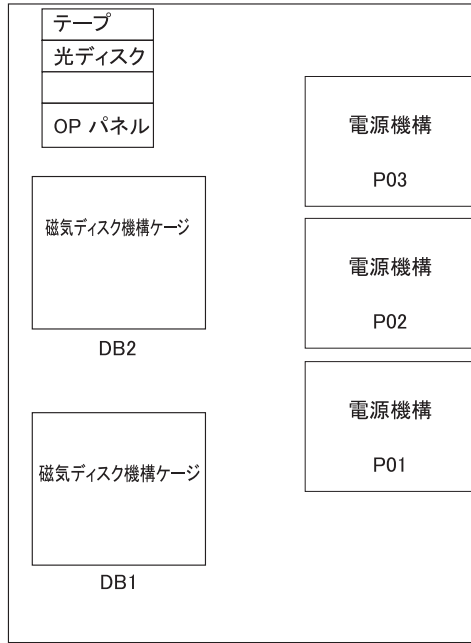
右側面

RZAQ2522-0

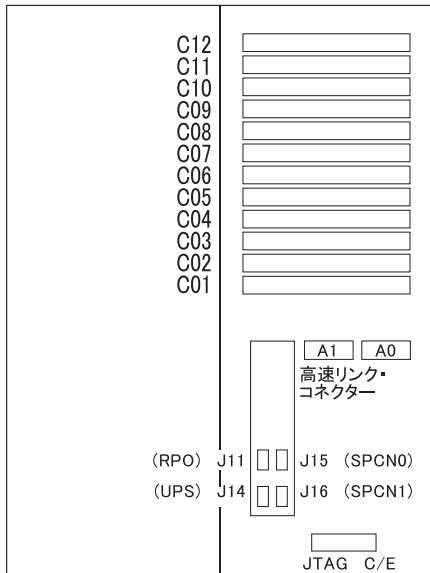
820 システム装置



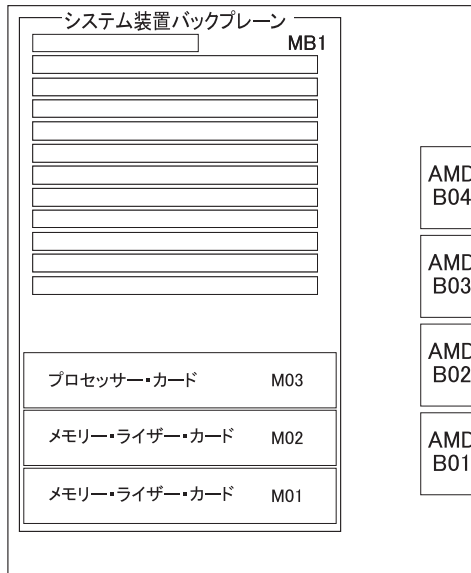
前面



右側面



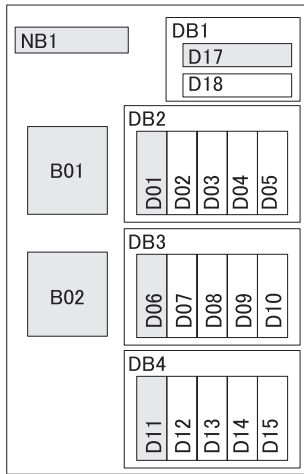
背面



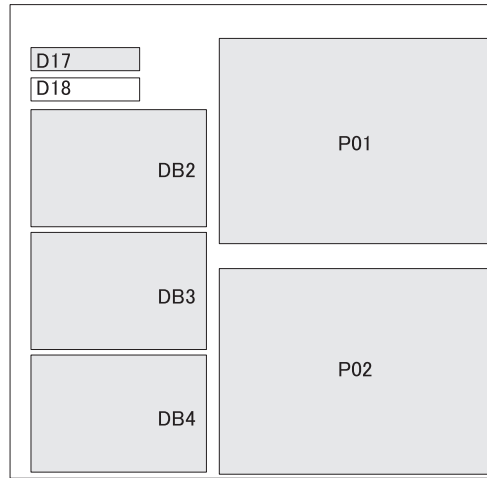
左側面

RZAQ2503-6

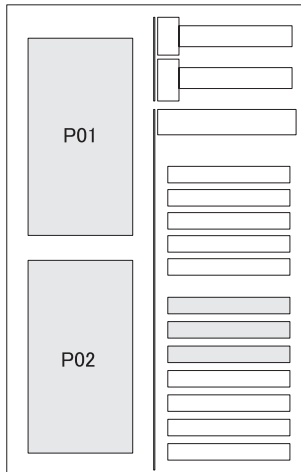
825 システム装置



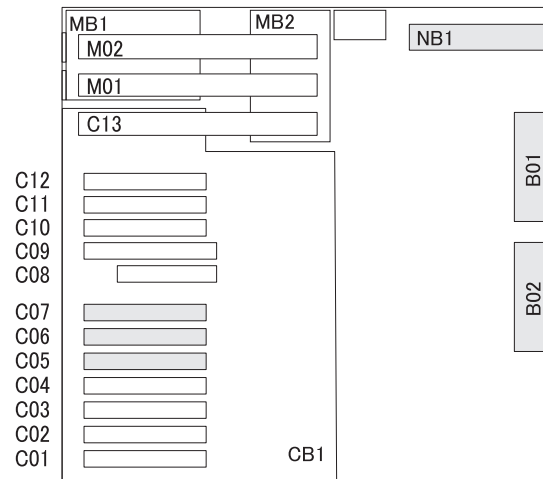
前面



右側面



背面

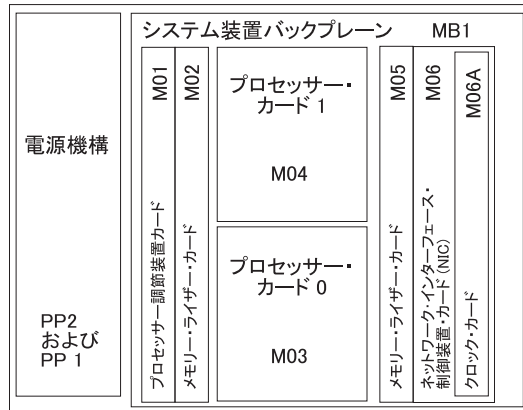


左側面

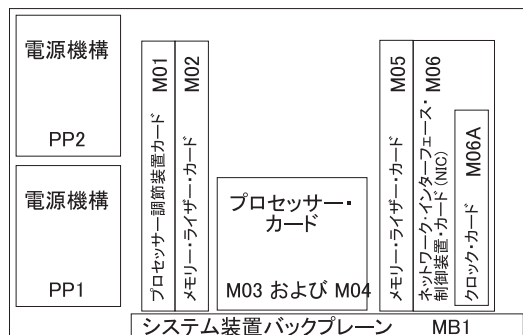
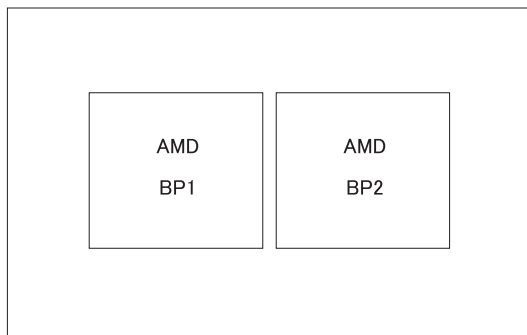
RZAR6800-3

830 システム装置

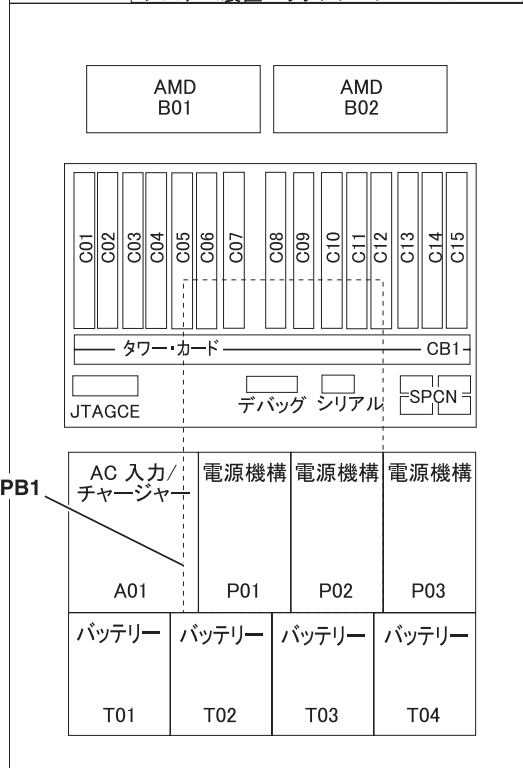
上面



830
システム
装置



前面



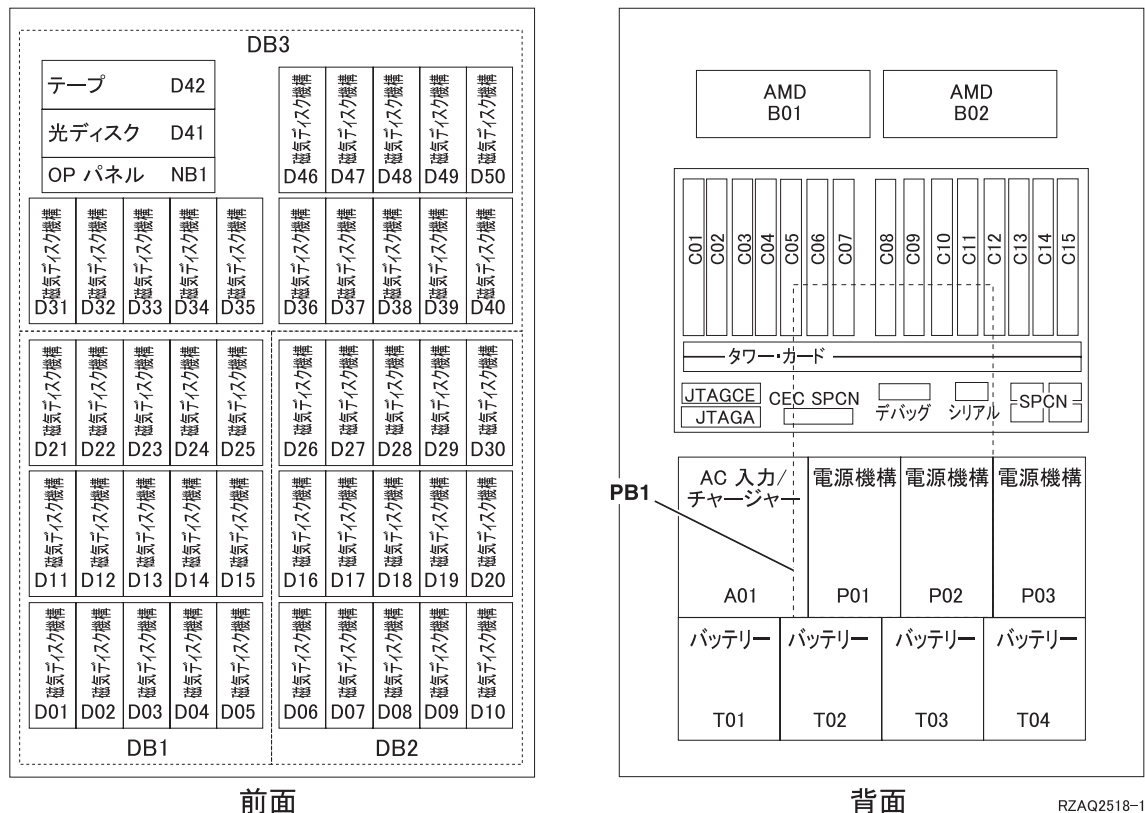
背面

FC 9074
基本入出力
タワー

RZAQ2504-9

注: 最大限のパフォーマンスを得るための磁気ディスク機構の接続順序: D31、D36、D46、D32、D37、D47、... D50、(2 つ目のアダプターを追加)、D01、D11、D21、D02、... D25、(3 つ目のアダプターを追加)、D06、D16、D26、D07、... D30。

840 システム装置

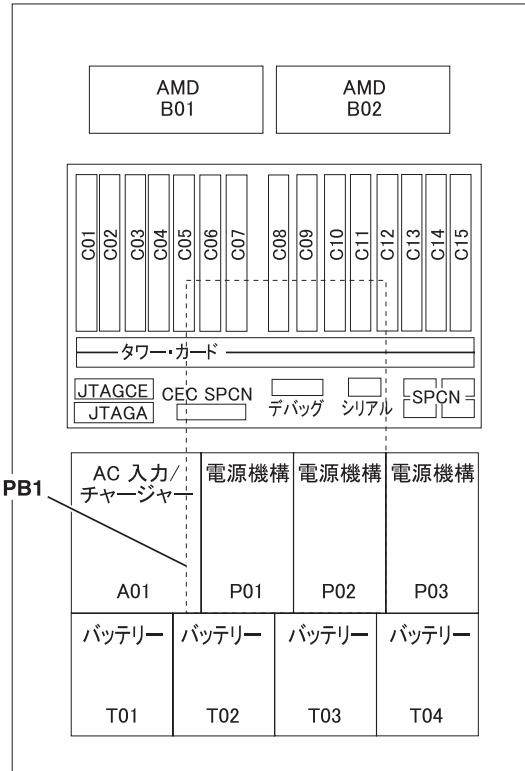


注: 最大限のパフォーマンスを得るための磁気ディスク機構の接続順序: D31、D36、D46、D32、D37、D47、... D50、(2 つ目のアダプターを追加)、D01、D11、D21、D02、... D25、(3 つ目のアダプターを追加)、D06、D16、D26、D07、... D30。

870 および 890 システム装置



前面

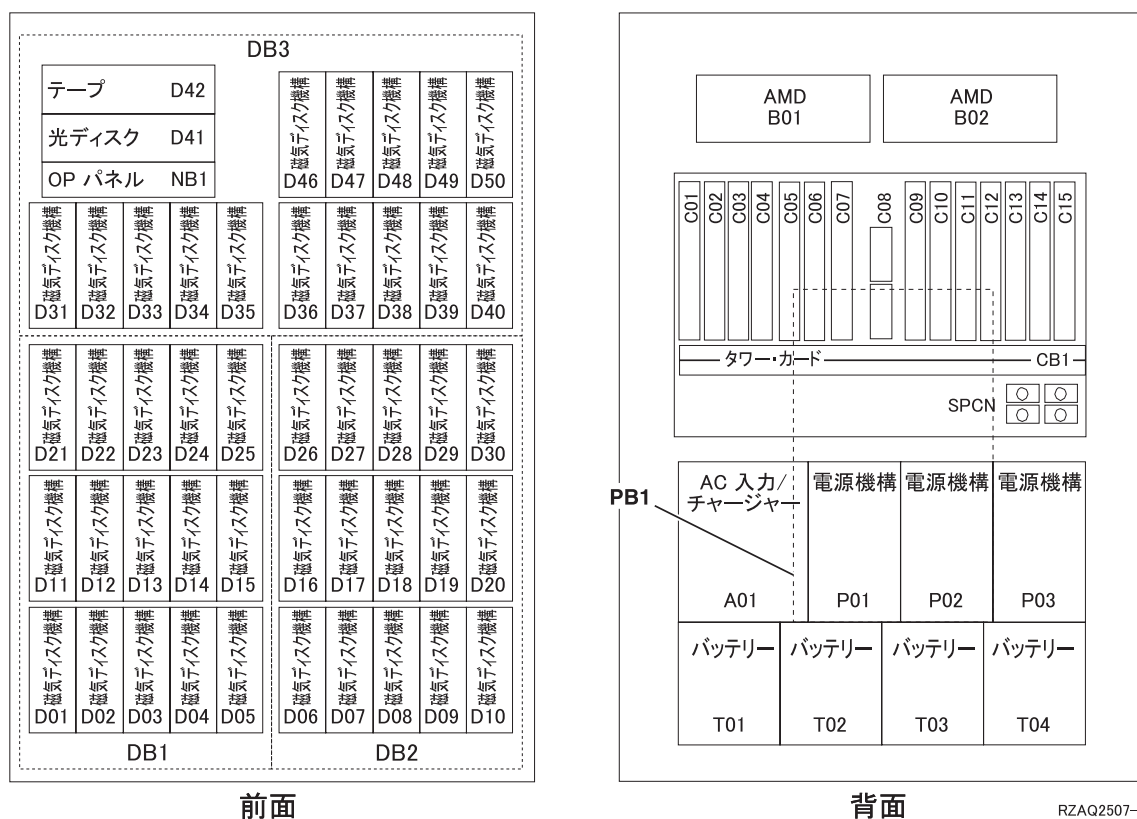


背面

RZAQ2518-1

注: 最大限のパフォーマンスを得るための磁気ディスク機構の接続順序: D31、D36、D46、D32、D37、D47、... D50、(2 つ目のアダプターを追加)、D01、D11、D21、D02、... D25、(3 つ目のアダプターを追加)、D06、D16、D26、D07、... D30。

5065、5074、および 5094 拡張機構



RZAQ2507-4

最適な磁気ディスク機構の位置の選択

磁気ディスク機構を取り付ける際には、磁気ディスク制御機構に磁気ディスク機構を均等に配分する必要があります。磁気ディスク機構を均等に配分することにより、最高のパフォーマンスを得ることができます。

5079 を使用している場合の注: 5079 は、2 つの独立した拡張機構 (5079-001 と 5079-002) で構成されます。取り付けの規則と手順は、それぞれの拡張機構に別々に適用されます。

5094 を使用している場合の注: 5094 は、2 つの独立した拡張機構 (5094-001 と 5094-002) で構成されます。取り付けの規則と手順は、それぞれの拡張機構に別々に適用されます。

注: フィーチャー 4331 1.65 GB 拡張キャッシュ (PCI タワー用) を取り付ける場合、この磁気ディスク機構は磁気ディスク機構格納装置の位置 1 にだけ取り付けることができます。たとえば、これらのフィーチャーが 3 つある場合 (磁気ディスク制御機構が 3 つあれば)、位置 D31、D01、および D06 に取り付けることができます。

前面カバーの内側にあるラベルを参照して、以下の手順で磁気ディスク機構を取り付けます。

- __ 1. まず、1 つ目の高速磁気ディスク制御機構が制御するディスク機構の位置がすべて埋められるように取り付けます。
 - __ a. スロット 1 に取り付ける: D31、D36、D46
 - __ b. スロット 2 に取り付ける: D32、D37、D47

- __ c. スロット 3 に取り付ける: D33、D38、D48
 - __ d. スロット 4 に取り付ける: D34、D39、D49
 - __ e. スロット 5 に取り付ける: D35、D40、D50
- __ 2. 以下の位置に磁気ディスク機構を取り付けるには、その前に拡張機構に 2 つ目の高速磁気ディスク制御機構を取り付ける必要があります。拡張機構に 2 つ目の高速磁気ディスク制御機構 (IOA カード 2) がいない場合は、IBM または特約販売店にご連絡ください。

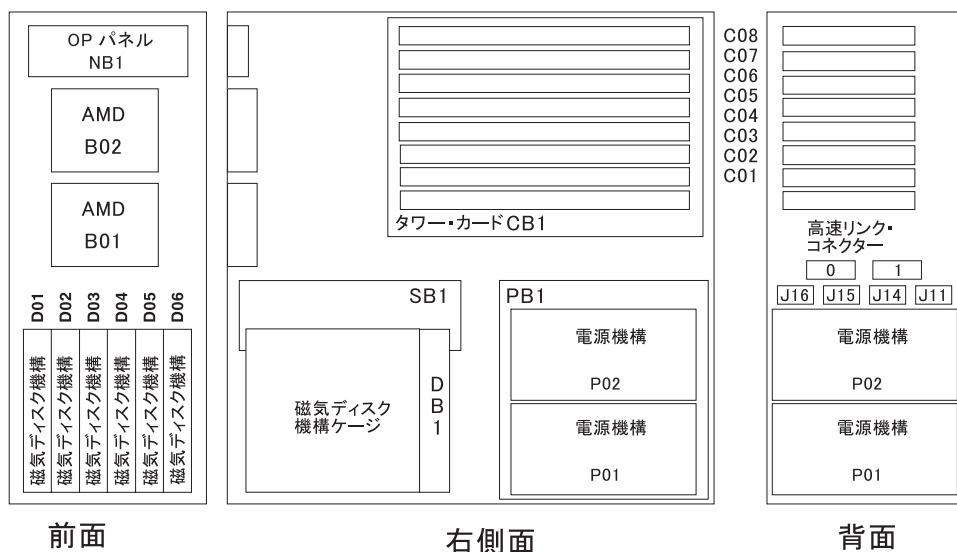
次に、以下の手順でスロットが埋められるように取り付けます (IOA カード 2)。

- __ a. スロット 1 に取り付ける: D01、D11、D21
 - __ b. スロット 2 に取り付ける: D02、D12、D22
 - __ c. スロット 3 に取り付ける: D03、D13、D23
 - __ d. スロット 4 に取り付ける: D04、D14、D24
 - __ e. スロット 5 に取り付ける: D05、D15、D25
- __ 3. 以下の位置に磁気ディスク機構を取り付けるには、その前に拡張機構に 3 つ目の高速磁気ディスク制御機構を取り付ける必要があります。拡張機構に 3 つ目の高速磁気ディスク制御機構 (IOA カード 3) がいない場合は、IBM または特約販売店にご連絡ください。

最後に、以下の手順でスロットが埋められるように取り付けます (IOA カード 3)。

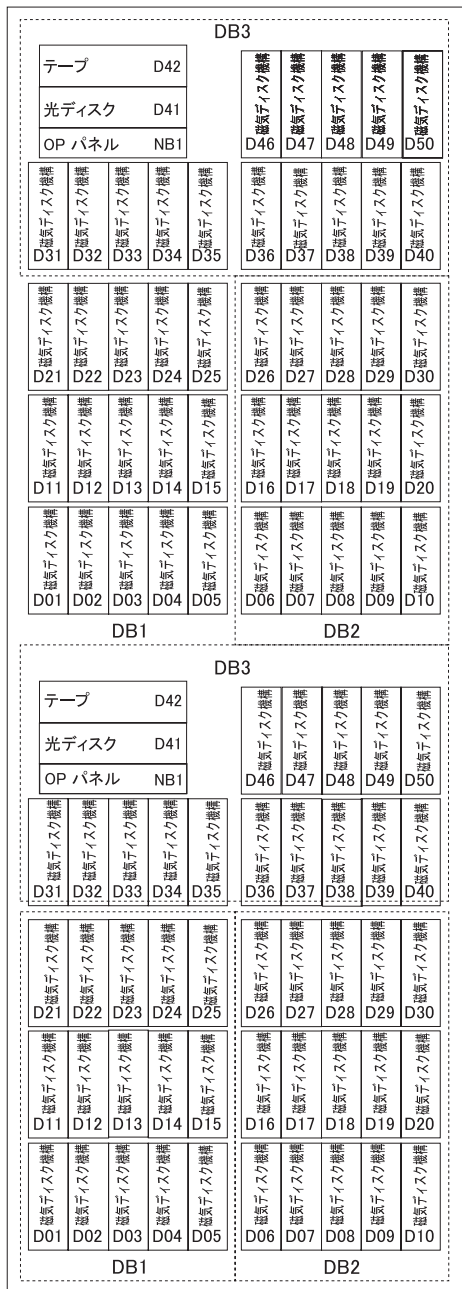
- __ a. スロット 1 に取り付ける: D06、D16、D26
- __ b. スロット 2 に取り付ける: D07、D17、D27
- __ c. スロット 3 に取り付ける: D08、D18、D28
- __ d. スロット 4 に取り付ける: D09、D19、D29
- __ e. スロット 5 に取り付ける: D10、D20、D30

5075 および 5095 拡張機構

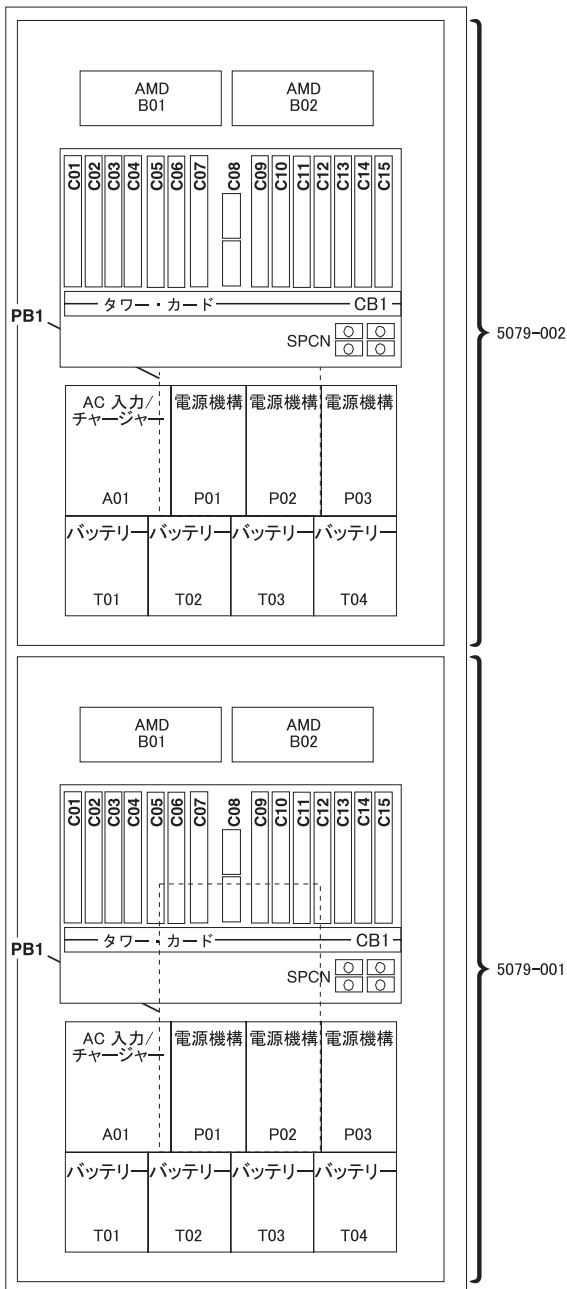


RZAQ2500-4

5079 および 5294 拡張機構



前面



背面

RZAQ2519-5

最適な磁気ディスク機構の位置の選択

磁気ディスク機構を取り付ける際には、磁気ディスク制御機構に磁気ディスク機構を均等に配分する必要があります。磁気ディスク機構を均等に配分することにより、最高のパフォーマンスを得ることができます。

5079 を使用している場合の注: 5079 は、2 つの独立した拡張機構 (5079-001 と 5079-002) で構成されます。取り付けの規則と手順は、それぞれの拡張機構に別々に適用されます。

5294 を使用している場合の注: 5294 は、2 つの独立した拡張機構 (5294-001 と 5294-002) で構成されま
す。取り付けの規則と手順は、それぞれの拡張機構に別々に適用されま
す。

注: フィーチャー 4331 1.65 GB 拡張キャッシュ (PCI タワー用) を取り付ける場合、この磁気ディスク機
構は磁気ディスク機構格納装置の位置 1 にだけ取り付けることができます。たとえば、これらのフィ
ーチャーが 3 つある場合 (磁気ディスク制御機構が 3 つあれば)、位置 D31、D01、および D06 に取
り付けることができます。

前面カバーの内側にあるラベルを参照して、以下の手順で磁気ディスク機構を取り付けます。

- __ 1. まず、1 つ目の高速磁気ディスク制御機構が制御するディスク機構の位置がすべて埋められるように
取り付けます。
 - __ a. スロット 1 に取り付ける: D31、D36、D46
 - __ b. スロット 2 に取り付ける: D32、D37、D47
 - __ c. スロット 3 に取り付ける: D33、D38、D48
 - __ d. スロット 4 に取り付ける: D34、D39、D49
 - __ e. スロット 5 に取り付ける: D35、D40、D50
- __ 2. 以下の位置に磁気ディスク機構を取り付けるには、その前に拡張機構に 2 つ目の高速磁気ディスク
制御機構を取り付ける必要があります。拡張機構に 2 つ目の高速磁気ディスク制御機構 (IOA カー
ド 2) がない場合は、IBM または特約販売店にご連絡ください。

次に、以下の手順でスロットが埋められるように取り付けます (IOA カード 2)。

- __ a. スロット 1 に取り付ける: D01、D11、D21
 - __ b. スロット 2 に取り付ける: D02、D12、D22
 - __ c. スロット 3 に取り付ける: D03、D13、D23
 - __ d. スロット 4 に取り付ける: D04、D14、D24
 - __ e. スロット 5 に取り付ける: D05、D15、D25
- __ 3. 以下の位置に磁気ディスク機構を取り付けるには、その前に拡張機構に 3 つ目の高速磁気ディスク
制御機構を取り付ける必要があります。拡張機構に 3 つ目の高速磁気ディスク制御機構 (IOA カー
ド 3) がない場合は、IBM または特約販売店にご連絡ください。

最後に、以下の手順でスロットが埋められるように取り付けます (IOA カード 3)。

- __ a. スロット 1 に取り付ける: D06、D16、D26
- __ b. スロット 2 に取り付ける: D07、D17、D27
- __ c. スロット 3 に取り付ける: D08、D18、D28
- __ d. スロット 4 に取り付ける: D09、D19、D29
- __ e. スロット 5 に取り付ける: D10、D20、D30

システム装置のコントロール・パネル

iSeries システム装置の前面にある、コントロール・パネルの扉を開きます。

コントロール・パネルの外観は、図 1、または 46 ページの図 2 のようになっています。ご使用の装置のコントロール・パネルを確認してください。

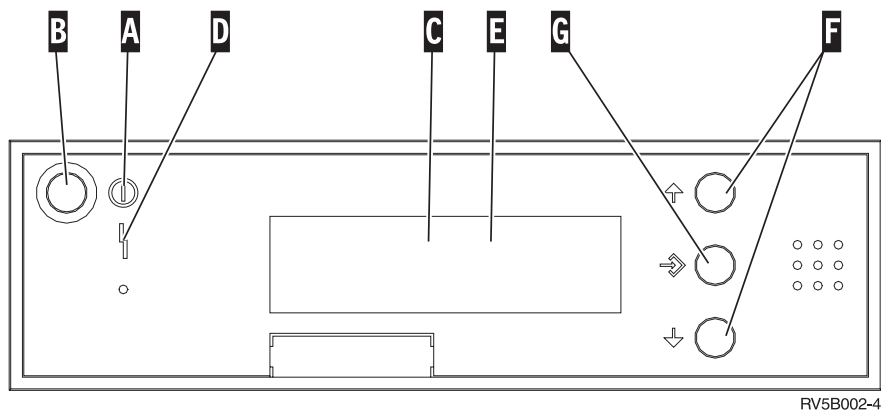
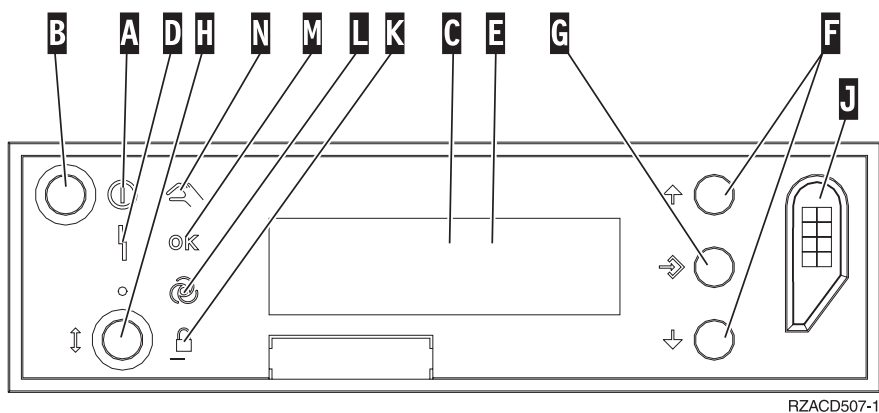


図 1. 電子キースティックのないコントロール・パネル

以下は、図 1 にある各部の説明です。

- A** 「電源オン」ライト
 - ライトが明滅しているときは、装置に電源が供給されています。
 - ライトが点灯しているときは、装置は作動中です。
- B** 「電源」押しボタン
- C** 処理活動状態
- D** 「システム・アテンション」ライト
- E** 「機能/データ」表示パネル
- F** 「増/減」ボタン
- G** 「機能開始」押しボタン

コントロール・パネルが 46 ページの図 2 のようになっている場合、**F** の「増/減」ボタンと **G** の「機能開始」押しボタンを使用するには、先に **H** の「モード選択」ボタンを押して、手動モード **N** を選択しておく必要があります。



RZACD507-1

図2. 電子キースティックのあるコントロール・パネル

- A** 「電源オン」 ライト
 - ・ ライトが明滅しているときは、装置に電源が供給されています。
 - ・ ライトが点灯しているときは、装置は作動中です。
- B** 「電源」 押しボタン
- C** 処理活動状態
- D** 「システム・アテンション」 ライト
- E** 「機能/データ」 表示パネル
- F** 「増/減」 ボタン
- G** 「機能開始」 押しボタン
- H** 「モード選択」 ボタン
- J** 電子キースティック・スロット
- K** ロック
- L** 自動
- M** 通常
- N** 手動

270 サーバーへの 7104 拡張機構の取り付けまたは 800 または 810 サーバーへの 7116 拡張機構の取り付け

- __ 1. 以下の手順でご使用の型式 270、800、または 810 のプロセッサを判別してください。

手動モード (01 B M S) にするには、以下のようにします。


- __ a. 「機能/データ」画面に 02 が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
- __ b. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
- __ c. 「機能/データ」画面に B が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
- __ d. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
- __ e. 「機能/データ」画面に M が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
- __ f. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
- __ g. 「機能/データ」画面に 20 が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
- __ h. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
- __ i. システム・プロセッサのフィーチャー番号は、コントロール・パネル画面の上部に表示される長い数字部分の最後の 4 桁です。ここに書き込みます _____。
- __ j. 「機能/データ」画面に 02 が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
- __ k. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
- __ l. 「機能/データ」画面に B が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
- __ m. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。
- __ n. 「機能/データ」画面に N が表示されるまで、「増/減」押しボタンを押します。
- __ o. コントロール・パネルの「機能開始」押しボタンを押します。

「機能/データ」画面に 02 B N S が表示されるはずですが、表示されない場合は、ステップ 1a ~ 1o を繰り返します。

- __ 2. システムに統合 xSeries アダプター (IXA) が取り付けられている場合は、OS/400 オプションを使用してシャットダウンしてください。
- __ 3. すべてのジョブが完了していることを確認します。
- __ 4. すべてのジョブが完了したら、iSeries コマンド行で `pwrdownsys *immed` と入力して、Enter キーを押します。
- __ 5. ディスク機構の電源が完全に遮断されたら、システム装置に接続されているすべての PC および装置 (印刷装置や表示装置など) の電源をオフにします。
- __ 6. すべての電源コード・プラグ (印刷装置や表示装置などの) を電源コンセントから取り外します。
- __ 7. システム装置と拡張機構の電源コード・プラグを電源コンセントから取り外します。
- __ 8. 前面カバーを取り外します。29 ページの『270、800、810、820、または 5075 の全面カバー』を参照してください。
- __ 9. 背面カバーを取り外します。69 ページの『側面および背面カバーの取り外し』を参照してください。
- __ 10. 右側面カバーを取り外します (2 つのつまみねじ)。
- __ 11. 左側面カバーを取り外します (2 つのつまみねじ)。

- __ 12. 上面カバーを取り外します (2 つのねじ)。上面カバーを後側にスライドさせて持ち上げます。
- __ 13. 静電気の放電によりハードウェアが損傷しないように、可能な場合は、使い捨てリスト・バンドを着用してください。使い捨てリスト・バンドがない場合は、ハードウェアの取り付けまたは交換を行う前に、システムまたは拡張機構の金属面に触れてください。

2209 使い捨てリスト・バンドを受け取った場合は、以下の作業を行います。

- __ a. 使い捨てリスト・バンドを着用します。  ビデオをご覧ください。
- __ b. リスト・バンドを広げる時は、末端に付いている銅フォイルの裏打ちシールをはがします。
- __ c. 銅フォイルを、装置のフレームの露出した、塗装されていない金属面に貼り付けます。

注: リスト・バンドなしで使用する場合と同じ予防措置を行います。 2209 使い捨てリスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用することによって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。

- __ 14. 2757、2763、2782、4748、4778、5703、5705 IOA カードを受け取りましたか?

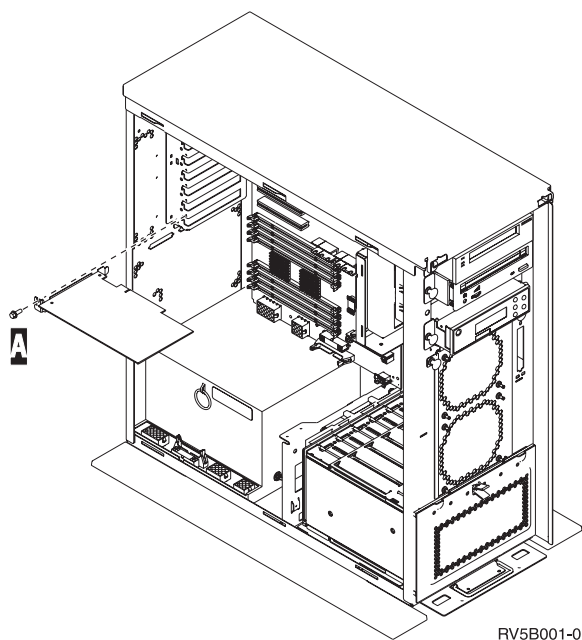
いいえの場合は、ステップ 25 (50 ページ) に進みます。

はいの場合は、下表を使用して IOA カードを取り付ける場所を判別してください。

受け取ったカード	現在の位置 C01	必要な処置
2763 または 2782、5703、 または 5705	9767	2763、2782、5703、5705 を位置 C02 に取り付け
	2763	新しい 2763、2782、5703、5705 を位置 C02 に取り付け
2757、4748、4778	9767	9767 を取り外し、2757、4748、4778 を位置 C01 に取り付け
	2763	2763 を取り外し、2757、4748、4778 を位置 C01 に取り付け

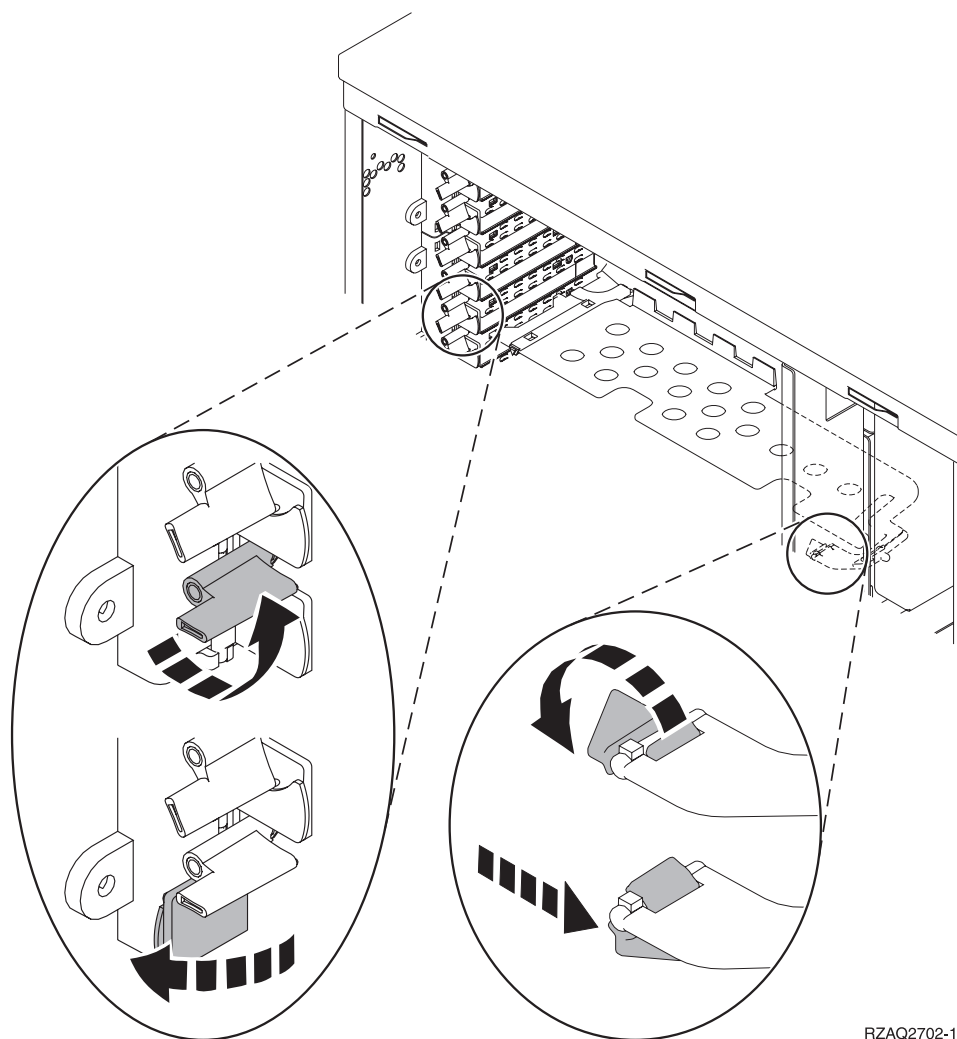
- __ 15. システム装置の内部で、アダプター・カードの位置を確認します。

- __ 16. カードを固定するねじが装置に付いていますか?



- __ いいえ: 次のステップに進みます。

- __ はい: 以下の作業を行います。
 - __ a. カードの取り外しまたは取り付けを行うカード位置から、ねじを取り外します。
 - __ b. ステップ 18 に進みます。
- __ 17. カードの取り外しまたは取り付けを行うカード位置にあるラッチを開きます。ラッチを左回りに動かし、ラッチを外側に回します。



RZAQ2702-1

図3. カードのラッチの例

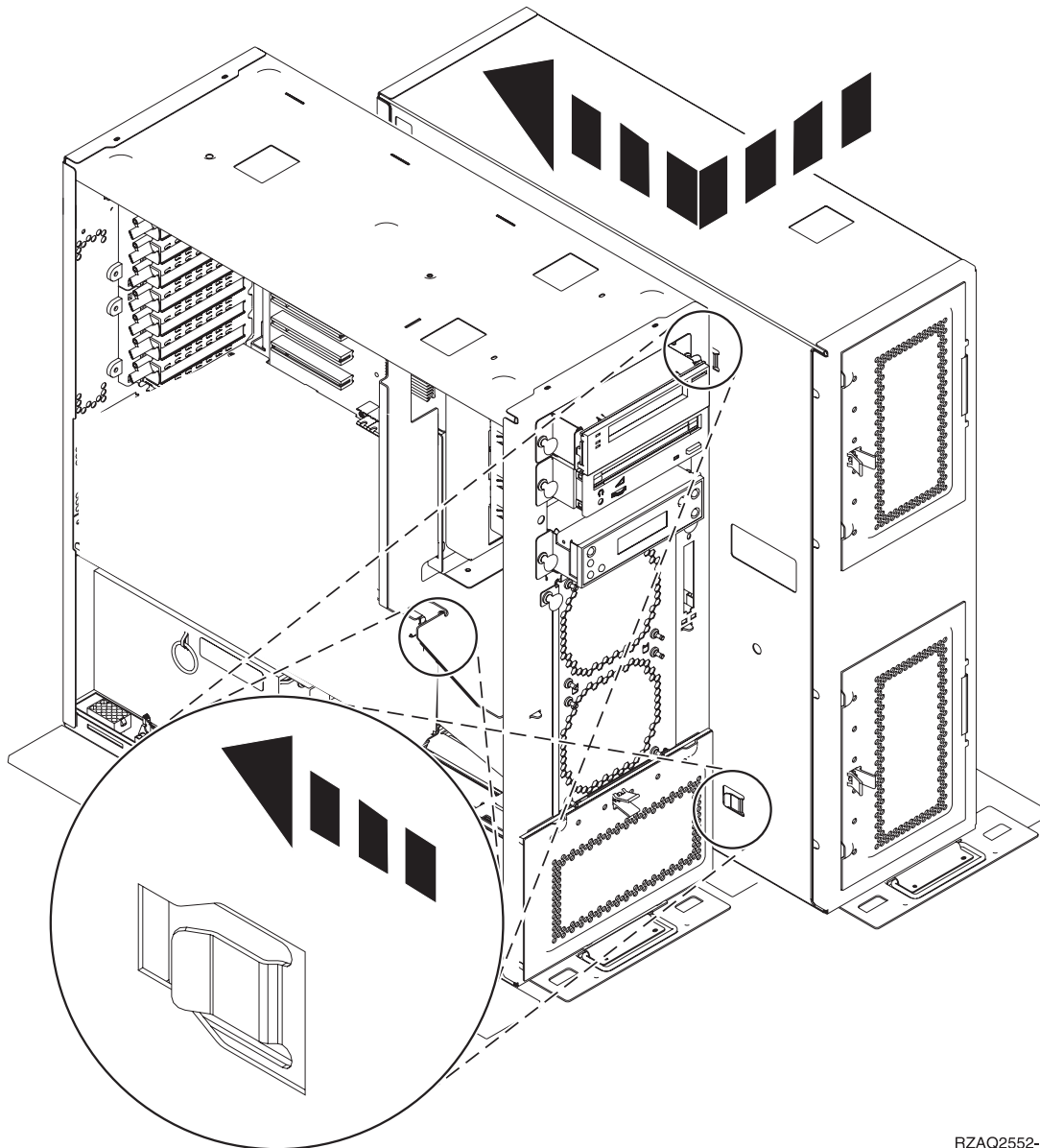
- __ 18. カードを取り外す場合は、カードを保護用パッケージに入れます。
- __ 19. **重要:** アダプター・カードは壊れやすいので、以下の点に留意してください。
 - 取り扱う際には端だけを持つ
 - プリント回路部分には指を触れない
 - 取り扱う際には静電気防止用リスト・バンドを着用する
 - 取り付ける用意ができるまで保護用パッケージに入れておく
- __ 20. この位置に取り付けるアダプター・カードを用意します。
- __ 21. アダプター・カードをシステム装置内のカード・ホルダーと合わせて、しっかり接続されるまで押し込みます。

- __ 22. ラッチを内側に回してから、右回りに動かしてカードを固定します。
- __ 23. カードを取り外した際に、そのカードを取り付ける位置を判別する必要がある場合は、 *Information Center* の『PCI カードの取り付け』を参照してください。
- __ 24. 危険

接地（アース）の異なる 2 つの面に触って感電事故が起きることのないように、可能であれば、片手で信号ケーブルの接続または切り離しを行ってください。(RSFTD004)

ケーブルをすべて再接続し、それらのケーブルにカード位置を示すラベルを付けます。

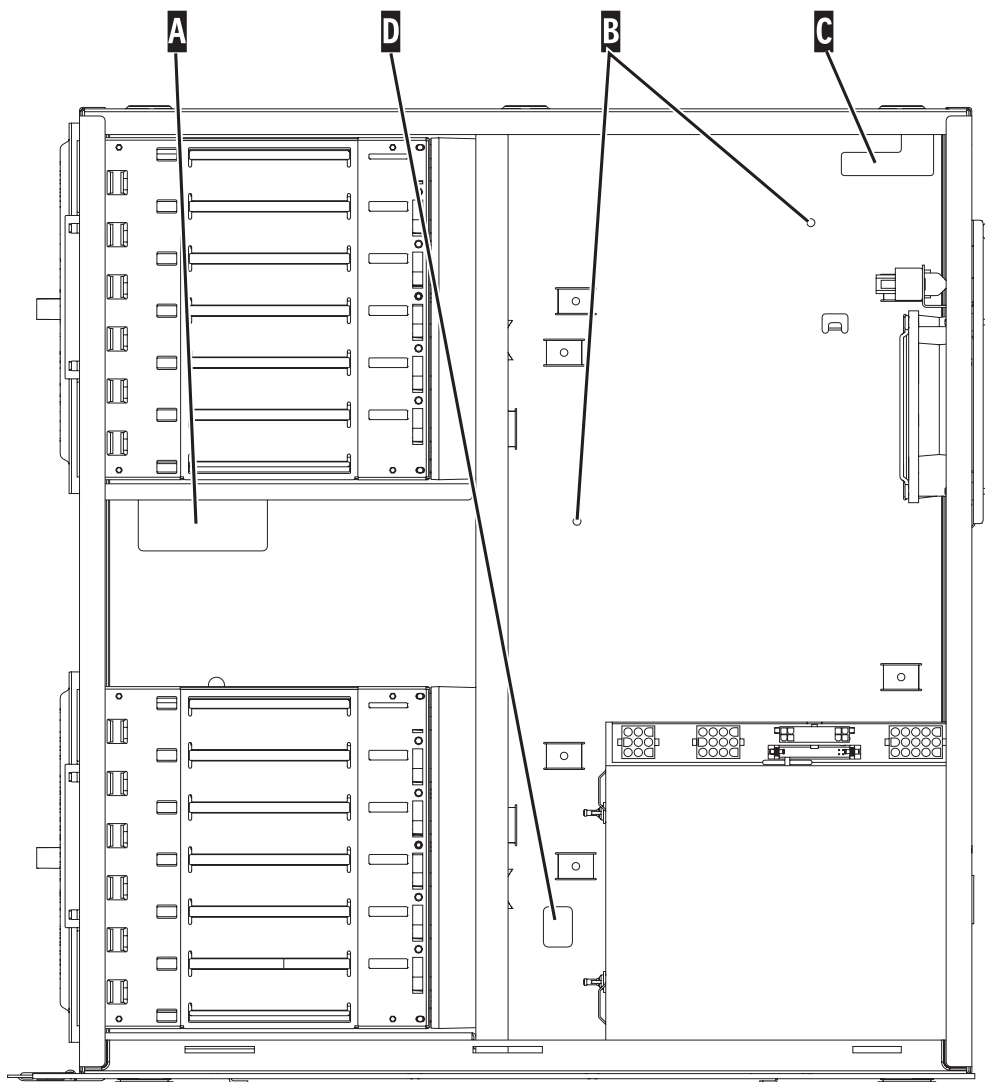
- __ 25. 拡張機構とシステム装置を横並びに配置します。
- __ 26. システム拡張機構の左側面が、システム装置の右側面より少し前になるように配置します。



RZAQ2552-1

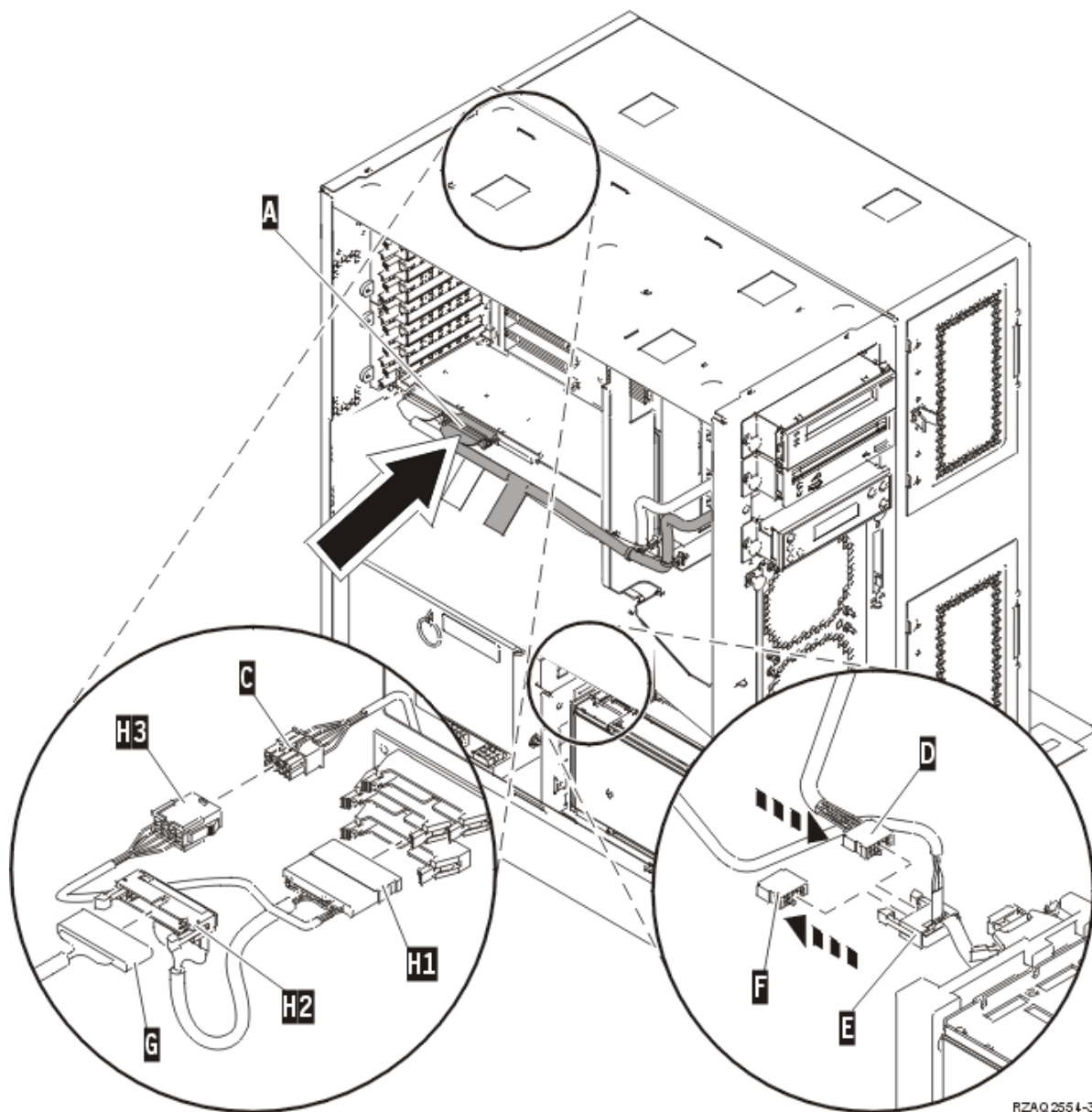
- __ 27. システム拡張機構の左側面には、システム装置フレームの右側面のスロットとかみ合うコネクタ・フックがあります。

- __ 28. 両装置の位置が合うまで、拡張機構を後側にスライドさせ、コネクター・フックをかみ合わせます。
- __ 29. 2 つのつまみねじ **B** を取り付けて、拡張機構をシステム装置に固定します。拡張機構の側からつまみねじを取り付けます。
- __ 30. データ・ケーブル (部品番号 04N2273) を用意します。ケーブルの端 (白いケーブル保持器具の反対側) を、下部の磁気ディスク機構格納装置に接続します。
- __ 31. 拡張機構から開口部を通してケーブルを出します。
 - A** 磁気ディスク機構データ・ケーブル (部品番号 04N2273)
 - C** 送風装置ケーブル (部品番号 04N5720)
 - D** 電源制御ケーブル (部品番号 04N5735)



RZAAQ2553-1

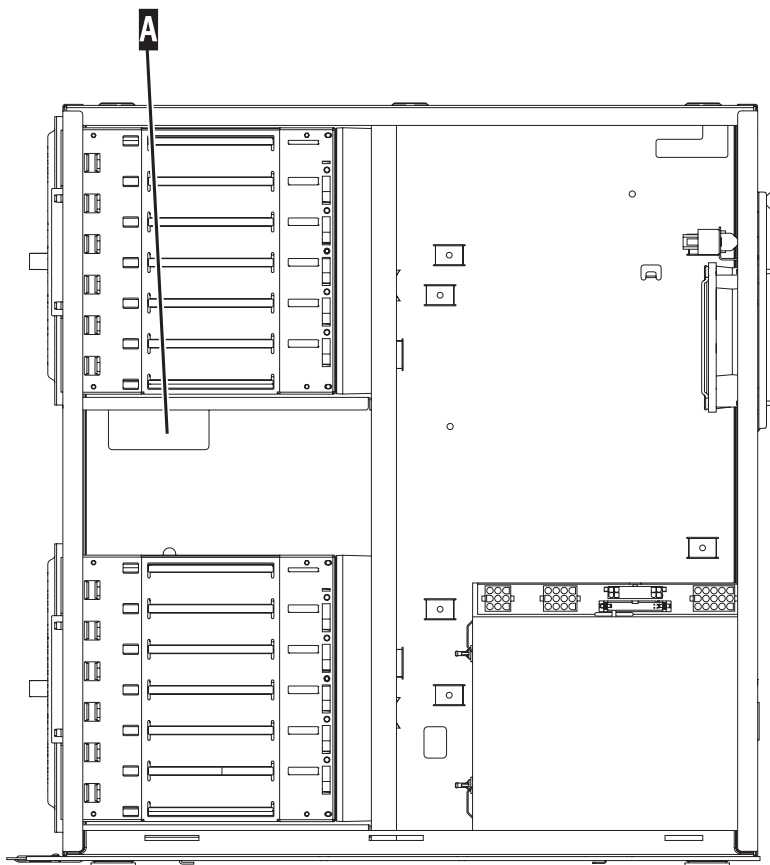
- __ 32. **A** 磁気ディスク機構データ・ケーブルを、システム装置内の位置 C01 または C02 に取り付けられている 2757、2763、2782、4748、4778、5703、5705 または 9767 カードの次のポートに接続します。



RZA02554-3

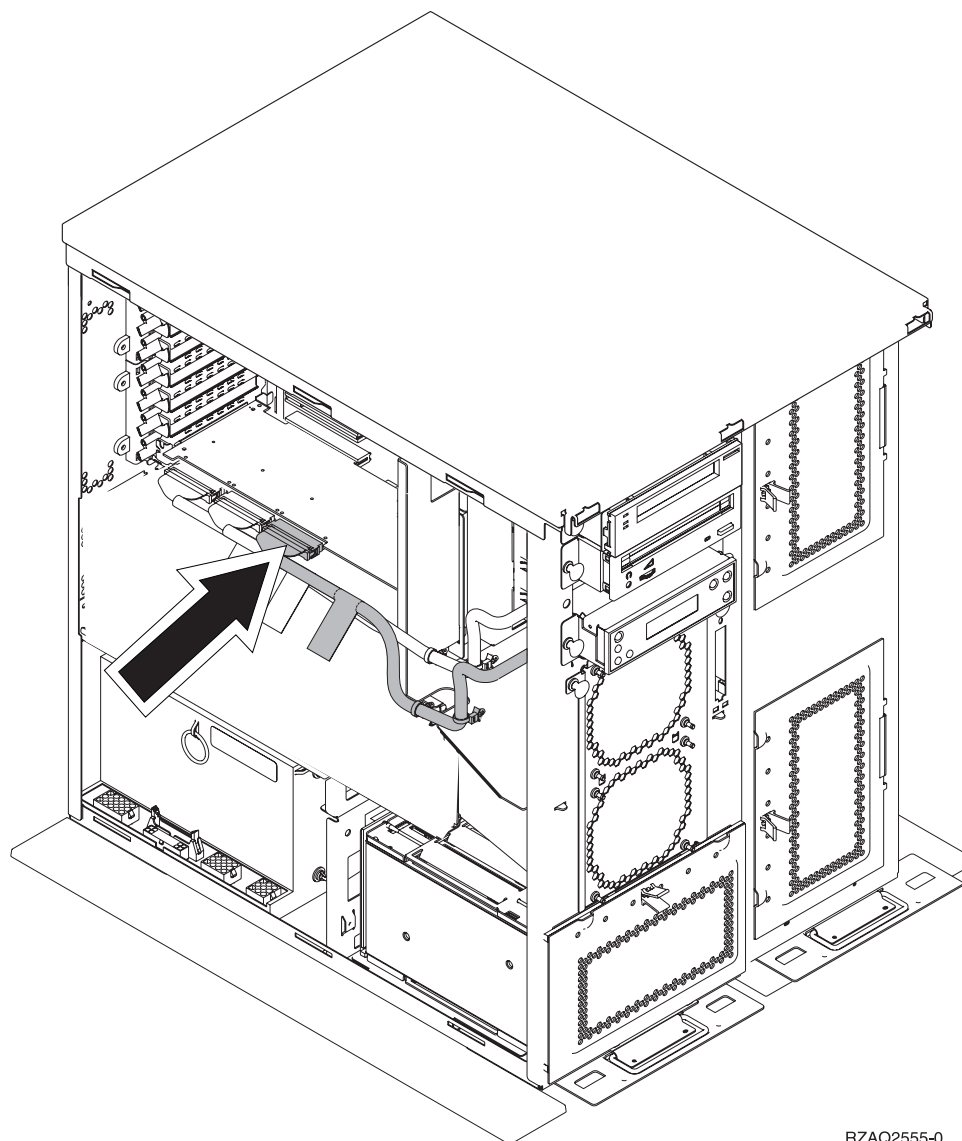
- __ 33. **G** デバッグ・ケーブル (部品番号 P24L1883) を、システム装置バックプレーンから取り外します。
- __ 34. 拡張機構に付属するケーブル **H1** (部品番号 P04N5595) を、直前のステップでバックプレーンからデバッグ・ケーブルを取り外した場所に接続します。
- __ 35. **G** を **H2** に接続します。
- __ 36. **C** (拡張機構から出ている) を **H3** に接続します。
- __ 37. プラグ **F** を取り外し廃棄します。
- __ 38. **D** (拡張機構から出ている) と **E** を接続します。
- __ 39. 拡張機構の上面の位置に 2 つ目の磁気ディスク機構格納装置が取り付けられていますか?
 - __ いいえ: 次のステップに進みます。
 - __ はい: 以下の作業を行います。

- __ a. 追加の磁気ディスク機構データ・ケーブルを、磁気ディスク機構格納装置の背面に接続します。
- __ b. 開口部 **A** を通して、磁気ディスク機構のデータ・ケーブルを、すでにあるデータ・ケーブルの経路に沿って配線します。



RZAQ2558-0

- __ c. 磁気ディスク機構データ・ケーブルを、システム装置内の位置 C01 または C02 に取り付けられている 2757、2763、2782、4748、4778、5703、5705 または 9767 カードの次のポートに接続します。



RZAQ2555-0


- __ 40. 新しい上面カバーを取り付けます。カバーを後ろから前へスライドさせます (背面に 3 つのねじ)。
- __ 41. 右側面カバーを取り付けます (2 つのつまみねじ)。
- __ 42. システム装置にあった左側面カバーを、拡張機構の左側面に取り付けます (2 つのねじ)。
- __ 43. 新しい前面カバーを取り付けます。
- __ 44. 7104 または 7116 拡張機構の背面に電源コードを接続します。
- __ 45. 新しい背面カバーがある場合は、それを取り付けます。
- __ 46. 270、800、または 810 装置の古いカバーは、今後の使用に備えて保管しておくか、地域の規則に従って廃棄するか、リサイクル施設がある場合はリサイクルします。
- __ 47. 20 ページの『システムが電源オフの状態での 43xx 磁気ディスク機構の取り付け』に進んで、磁気ディスク機構を取り付けます。

7123 または 7136 磁気ディスク拡張機構格納装置の取り付け

7123 ディスク機構格納装置は、270 システム拡張機構内の磁気ディスク機構側に取り付けます。7136 ディスク機構格納装置は、800 または 810 システム拡張機構内の磁気ディスク機構側に取り付けます。

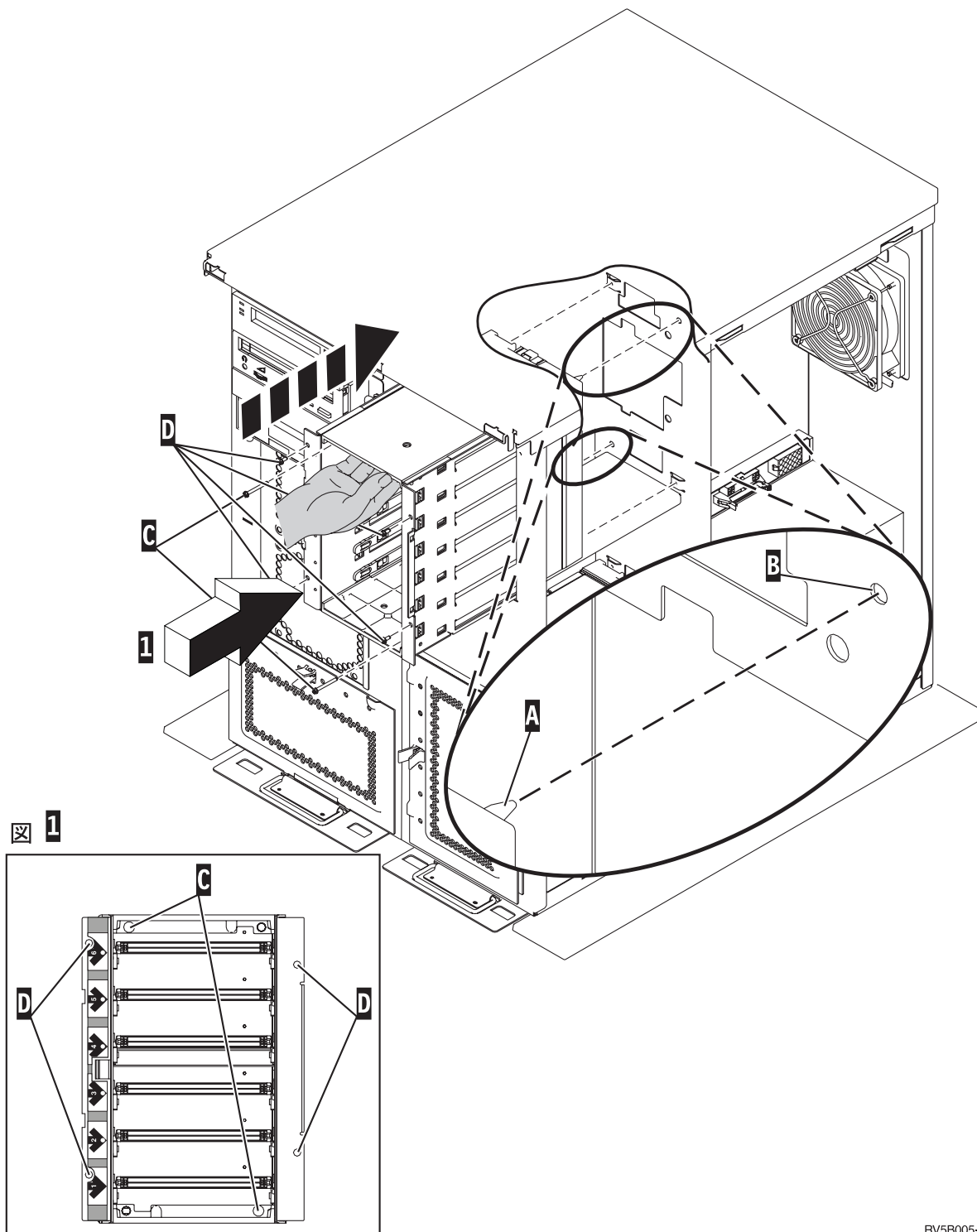
- __ 1. システムに統合 xSeries アダプター (IXA) が取り付けられている場合は、OS/400 オプションを使用してシャットダウンしてください。
- __ 2. すべてのジョブが完了していることを確認します。
- __ 3. すべてのジョブが完了したら、コマンド行に `pwrdownsys *immed` と入力して、Enter キーを押します。
- __ 4. ディスク機構の電源が完全に遮断されたら、システム装置に接続されているすべての PC および装置 (印刷装置や表示装置など) の電源をオフにします。
- __ 5. すべての電源コード・プラグ (印刷装置や表示装置などの) を電源コンセントから取り外します。
- __ 6. システム装置と拡張機構の電源コード・プラグを電源コンセントから取り外します。
- __ 7. 前面カバーを取り外します。29 ページの『270、800、810、820、または 5075 の全面カバー』を参照してください。
- __ 8. 背面カバーを取り外します。69 ページの『側面および背面カバーの取り外し』を参照してください。
- __ 9. 右側面カバーを取り外します (2 つのつまみねじ)。
- __ 10. 左側面カバーを取り外します (2 つのつまみねじ)。
- __ 11. 静電気の放電によりハードウェアが損傷しないように、可能な場合は、使い捨てリスト・バンドを着用してください。使い捨てリスト・バンドがない場合は、ハードウェアの取り付けまたは交換を行う前に、システムまたは拡張機構の金属面に触れてください。

2209 使い捨てリスト・バンドを受け取った場合は、以下の作業を行います。

- __ a. 使い捨てリスト・バンドを着用します。  ビデオをご覧ください。
- __ b. リスト・バンドを広げる時は、末端に付いている銅フォイルの裏打ちシールをはがします。
- __ c. 銅フォイルを、装置のフレームの露出した、塗装されていない金属面に貼り付けます。

注: リスト・バンドなしで使用する場合と同じ予防措置を行います。2209 使い捨てリスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用することによって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。

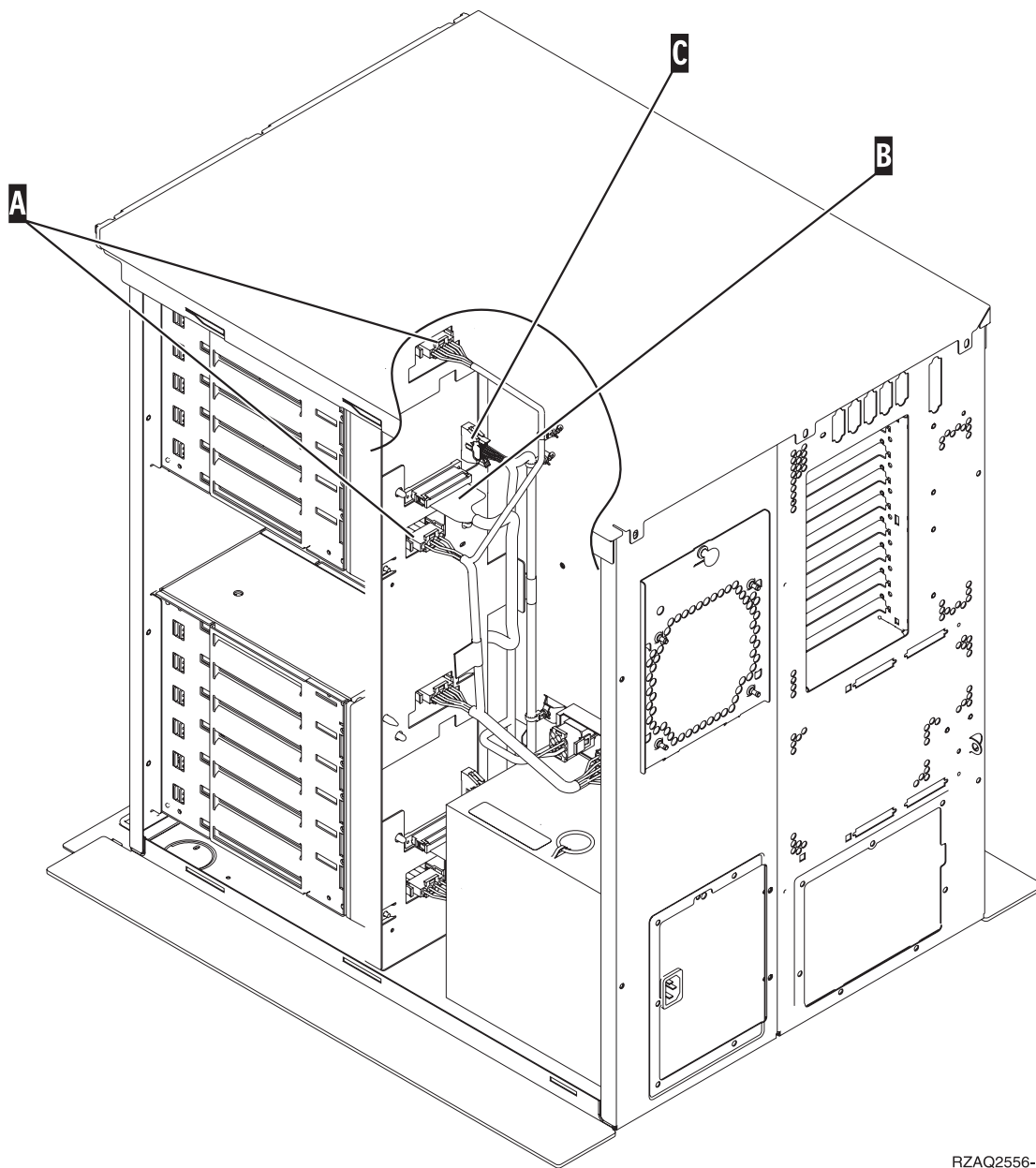
- __ 12. 既存の磁気ディスク機構格納装置の上にある金属面を固定している、4 つのねじを取り外します。4 つのねじは保管しておきます。これらのねじは、新しい磁気ディスク機構格納装置を固定するために使用します。
- __ 13. 新しい磁気ディスク機構格納装置が入っているパッケージを用意して、静電気保護パッケージから取り出します。
- __ 14. 磁気ディスク機構の位置 6 が一番上の位置になるようにして、磁気ディスク機構格納装置を持ちます。
- __ 15. 磁気ディスク機構格納装置を開口部の中にスライドさせて入れます。



RV5B005-0

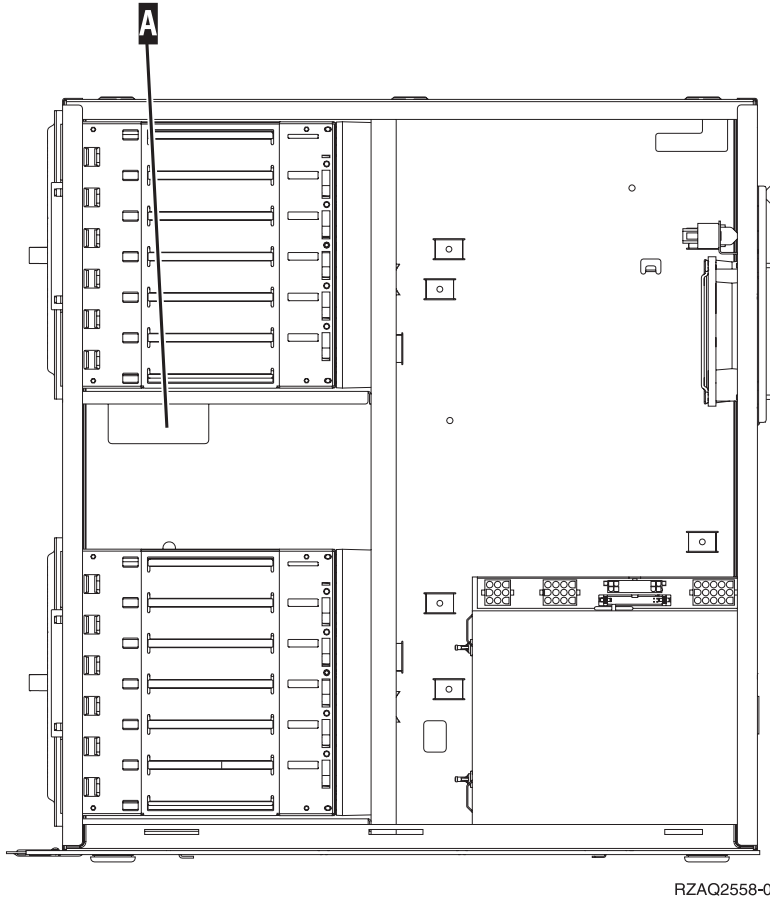
- __ 16. 磁気ディスク機構格納装置のガイド・ピン **A** を、拡張機構の **B** と合わせます。
- __ 17. 磁気ディスク機構格納装置を拡張機構に固定する、4つのねじ **D** の取り付けを始めます (ただし、まだ締めません)。
- __ 18. 磁気ディスク機構格納装置の内部に、2つのねじ **C** を取り付けます。磁気ディスク機構格納装置に付属の工具を使用して、図 **1** に示すようにこれら2つのねじを取り付けます。
- __ 19. 4つのねじ **D** を完全に締めます。

- __ 20. **A** 電源ケーブル、 **B** 磁気ディスク機構データ・ケーブル (部品番号 04N2273)、および **C** 電源制御ケーブルを、磁気ディスク機構格納装置に接続します。



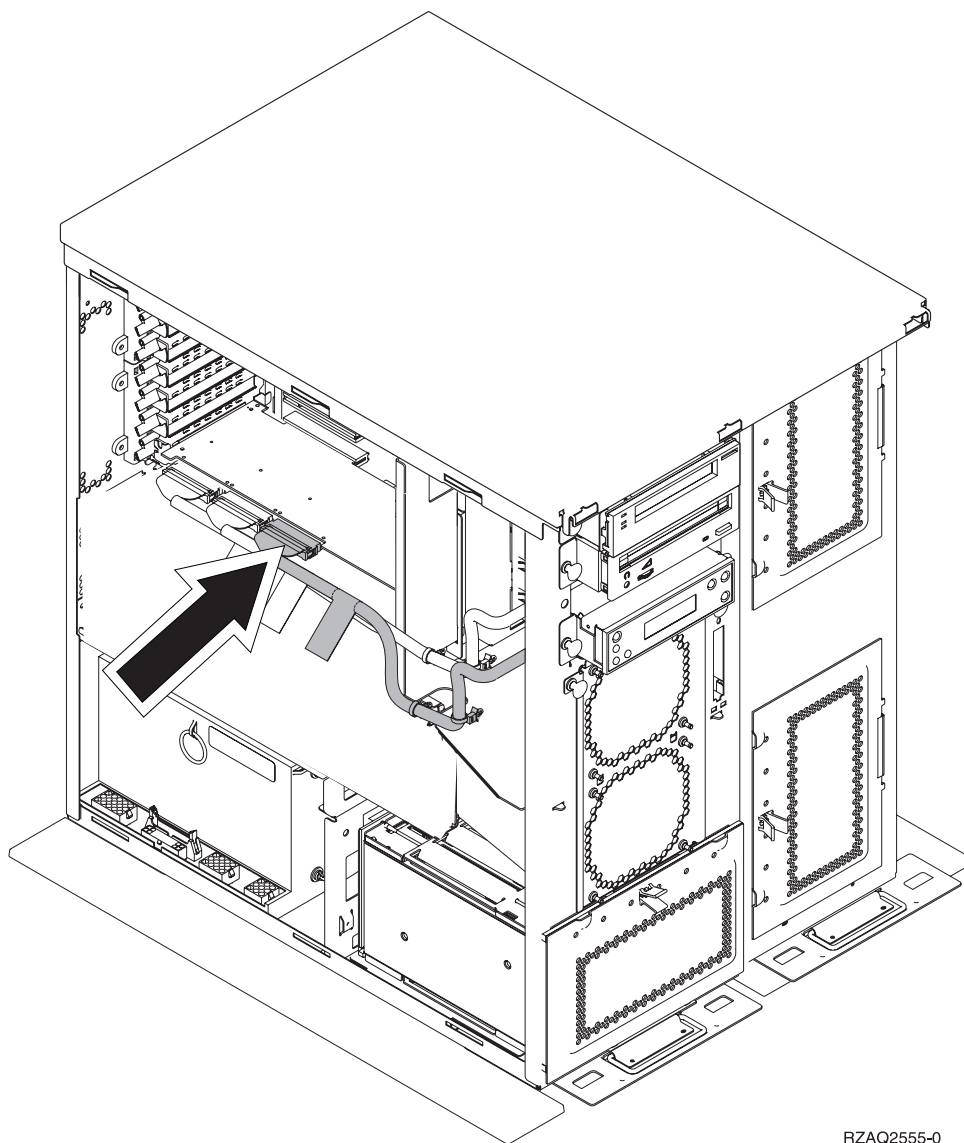
RZAQ2556-1

- __ 21. 開口部 **A** を通して、磁気ディスク機構格納装置のデータ・ケーブルを、すでにあるデータ・ケーブルの経路に沿って配線します。



RZAQ2558-0

- __ 22. 磁気ディスク機構のデータ・ケーブルを、2757、2763、2782、4748、4778、または 9767 カード上で次に使用できるポートに接続します。



RZAQ2555-0


- __ 23. 右側面カバーを取り付けます (2 つのつまみねじ)。
- __ 24. 左側面カバーを取り付けます (2 つのつまみねじ)。
- __ 25. 前面カバーを取り付けます。
- __ 26. 背面カバーを取り付けます。
- __ 27. 20 ページの『システムが電源オフの状態での 43xx 磁気ディスク機構の取り付け』に進んで、磁気ディスク機構を取り付けます。

7124 または 7127 磁気ディスク拡張機構格納装置の取り付け

7127 磁気ディスク機構格納装置は、820 システム装置の上側の位置に取り付けます。7124 ディスク機構格納装置は、825 システム装置の下側の 2 つの位置に取り付けます。

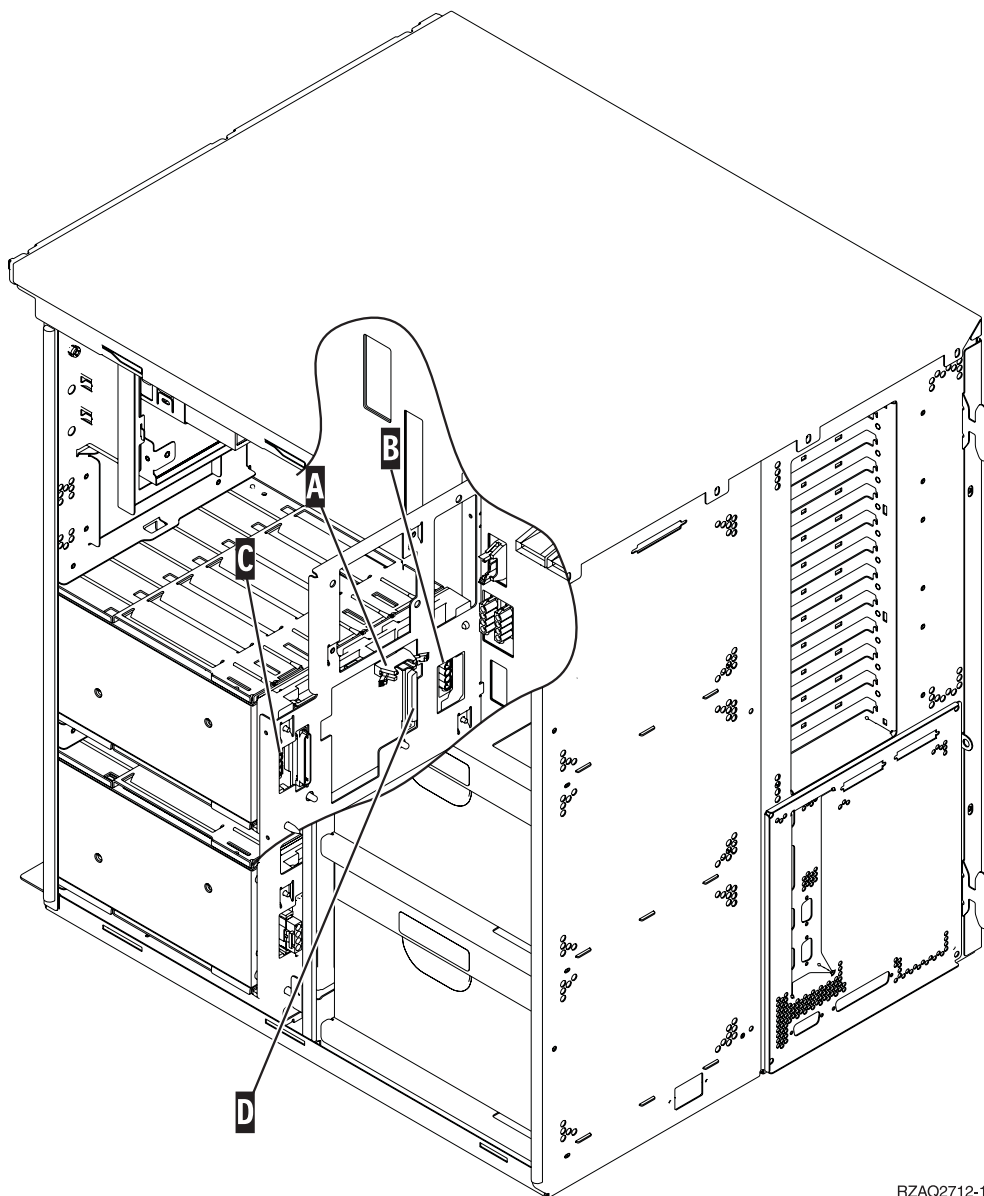
- __ 1. システムに統合 xSeries アダプター (IXA) が取り付けられている場合は、OS/400 オプションを使用してシャットダウンしてください。
- __ 2. すべてのジョブが完了していることを確認します。
- __ 3. すべてのジョブが完了したら、iSeries コマンド行で `pwrdownsys *immed` と入力して、Enter キーを押します。
- __ 4. iSeries の電源が完全に遮断されたら、システム装置に接続されているすべての PC および装置 (印刷装置や表示装置など) の電源をオフにします。
- __ 5. すべての電源コード・プラグ (印刷装置や表示装置などの) を電源コンセントから取り外します。
- __ 6. システム装置と拡張機構の電源コード・プラグを電源コンセントから取り外します。
- __ 7. 前面カバーを取り外すか、または開きます。29 ページの『前面カバーの開口と取り外し』を参照してください。
- __ 8. 背面カバーがある場合は、それを取り付けます。69 ページの『側面および背面カバーの取り外し』を参照してください。
- __ 9. 左側面カバーを取り外します。
- __ 10. 右側面カバーを取り外します。
- __ 11. 静電気の放電によりハードウェアが損傷しないように、可能な場合は、使い捨てリスト・バンドを着用してください。使い捨てリスト・バンドがない場合は、ハードウェアの取り付けまたは交換を行う前に、システムまたは拡張機構の金属面に触れてください。

2209 使い捨てリスト・バンドを受け取った場合は、以下の作業を行います。

- __ a. 使い捨てリスト・バンドを着用します。  ビデオをご覧ください。
- __ b. リスト・バンドを広げる時は、末端に付いている銅フォイルの裏打ちシールをはがします。
- __ c. 銅フォイルを、装置のフレームの露出した、塗装されていない金属面に貼り付けます。

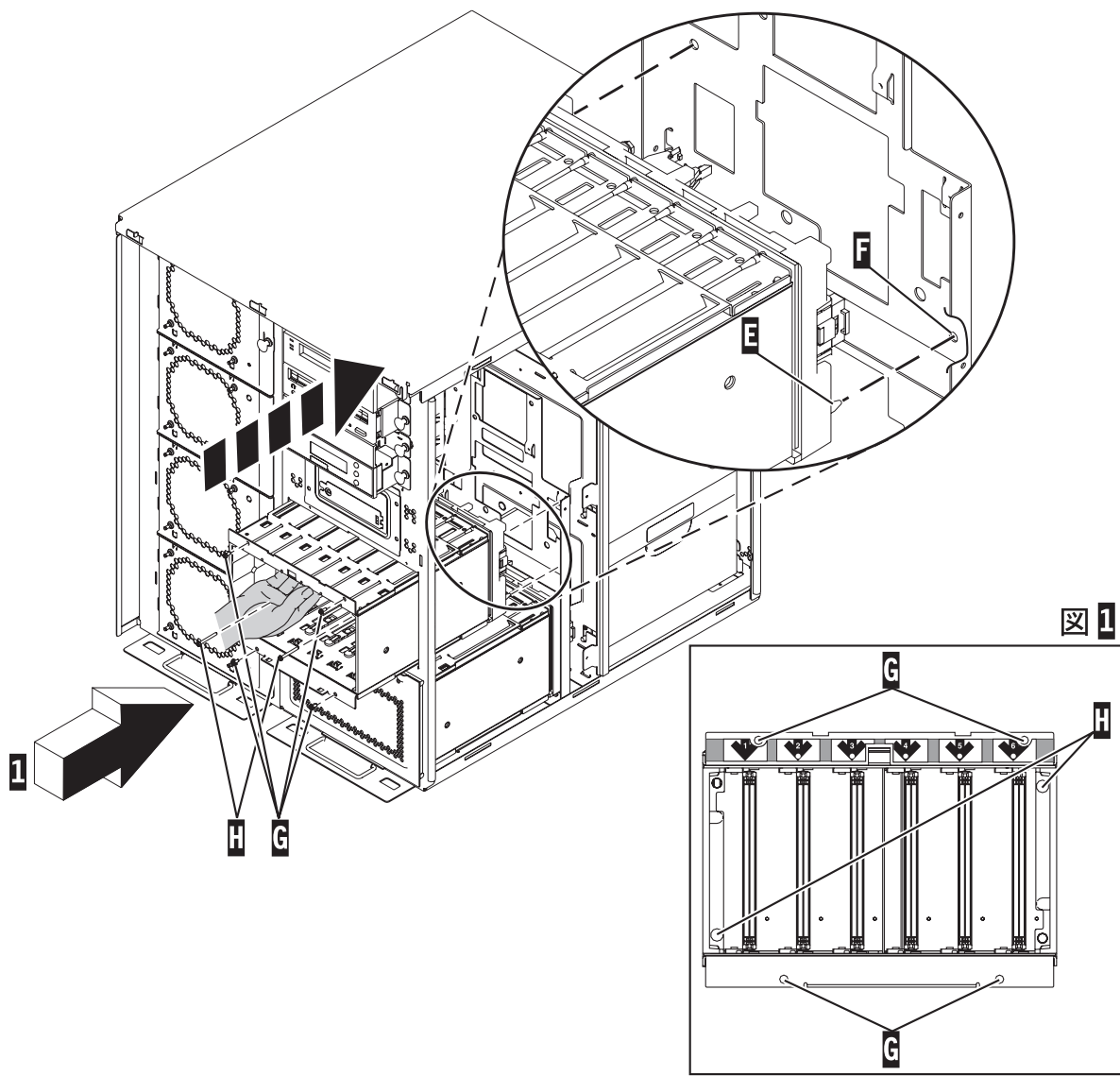
注: リスト・バンドなしで使用する場合と同じ予防措置を行います。2209 使い捨てリスト・バンドは、静電気を抑制するためのものです。このバンドを着用することによって、電気機器の使用時または作業時の感電の危険が増えることも、減ることもありません。

- __ 12. 820 の場合、既存の磁気ディスク機構格納装置の上にある金属面を固定している、4 つのねじを取り外します。825 の場合、既存の磁気ディスク機構格納装置の下にある金属面を固定している、4 つのねじを取り外します。4 つのねじは保管しておきます。これらのねじは、磁気ディスク機構格納装置を固定するために使用します。
- __ 13. 新しい磁気ディスク機構格納装置が入っているパッケージを用意して、静電気保護パッケージから取り出します。
- __ 14. 制御ケーブル (部品番号 24L1761) を位置 **A** に取り付け、電源ケーブル (部品番号 04N2920) を位置 **B** と **C** に取り付け、データ・ケーブル (部品番号 04N2273) を磁気ディスク機構格納装置の背面にあるコネクタ **D** に取り付けます。



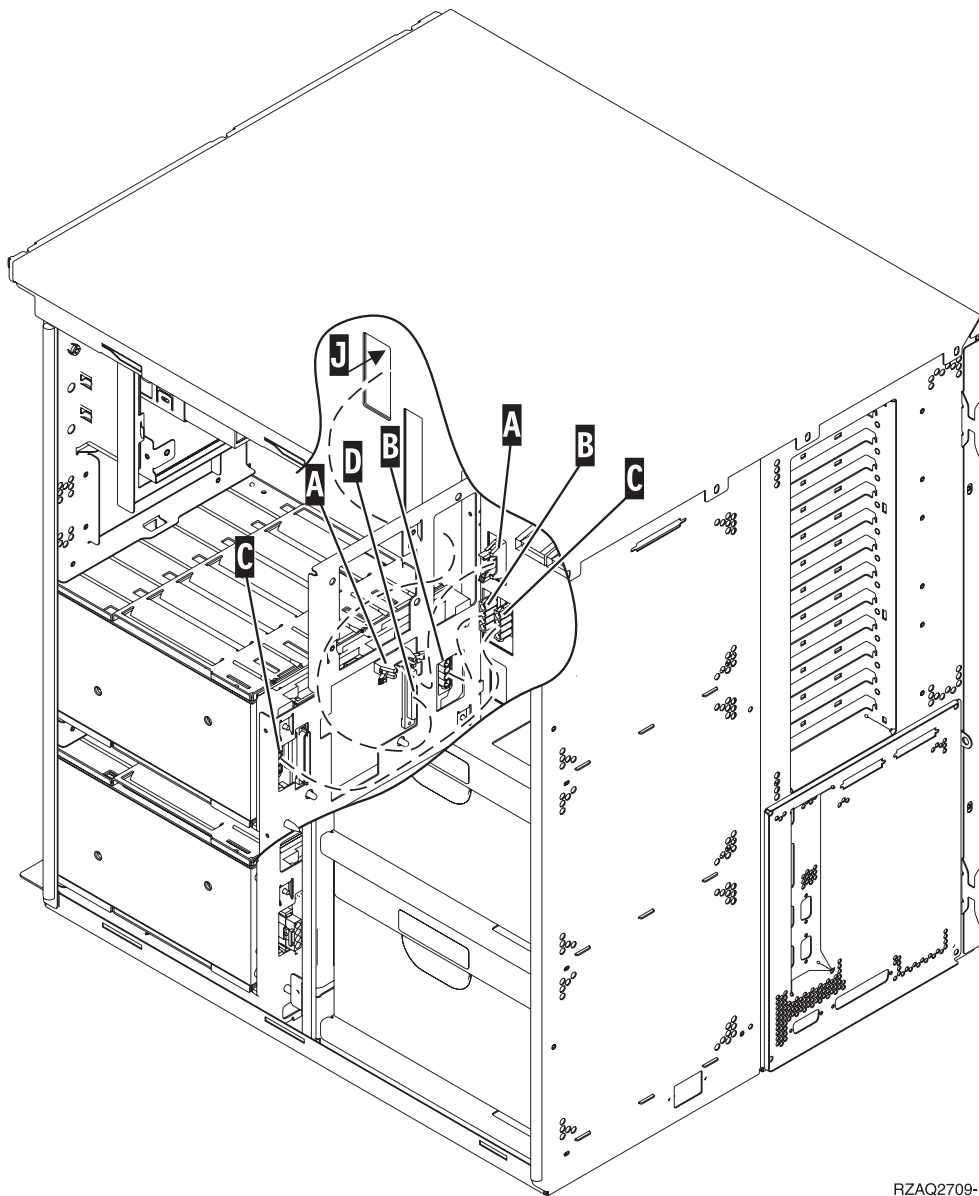
RZAQ2712-1

- __ 15. 磁気ディスク機構格納装置を開口部の中にスライドさせて入れ、ケーブルをフレームの開口部に通します。



RZAQ2708-2

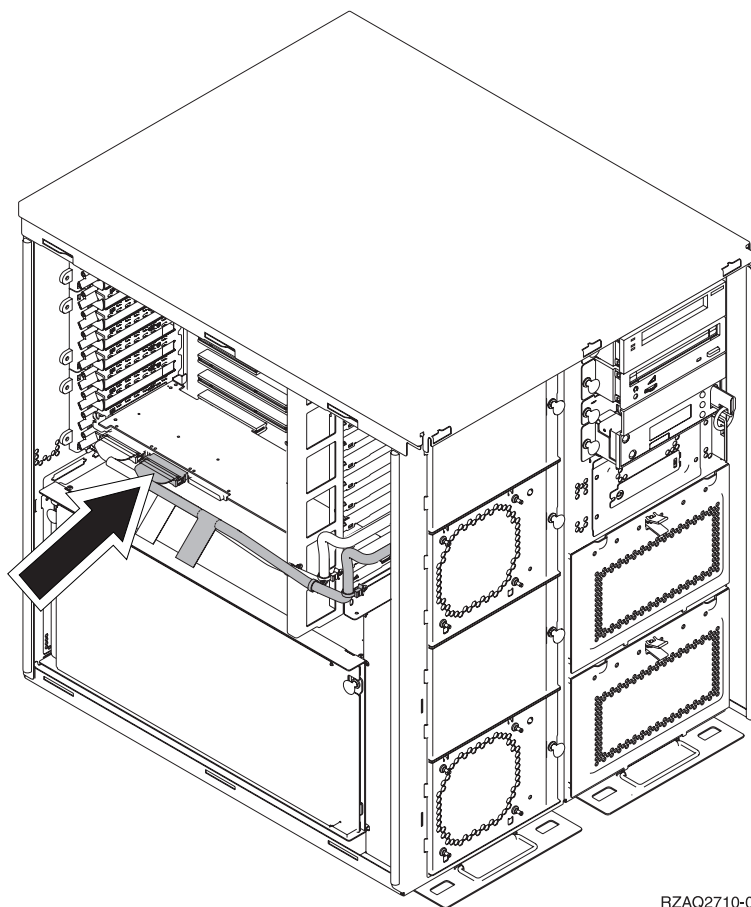
- __ 16. 64 ページの図 4 に示すように、システム装置にケーブルを接続します。 **A** は **A** に、 **B** は **B** に、 **C** は **C** に接続します。
- __ 17. 磁気ディスク機構格納装置のガイド・ピン **E** を、システム装置の **F** と合わせます。
- __ 18. 磁気ディスク機構格納装置をシステム装置に固定する、 4 つのねじ **G** の取り付けを始めます (ただし、まだ締めません)。
- __ 19. 2 つのねじ **H** を取り付けます。磁気ディスク機構格納装置に付属の工具を使用して、図 **1** に示すように 2 つのねじ **H** を取り付けます。
- __ 20. 4 つのねじ **G** を完全に締めます。



RZAQ2709-1

図4. システム装置へのケーブルの接続

- __ 21. フレームの開口部 **J** を通して、磁気ディスク機構のデータ・ケーブルを、すでにある磁気ディスク機構のデータ・ケーブルの経路に沿って配線します。
- __ 22. 磁気ディスク機構のデータ・ケーブルを、4748、2757、2763、2782、4778、 5703、または 5705 カード上で次に使用できるポートに接続します。

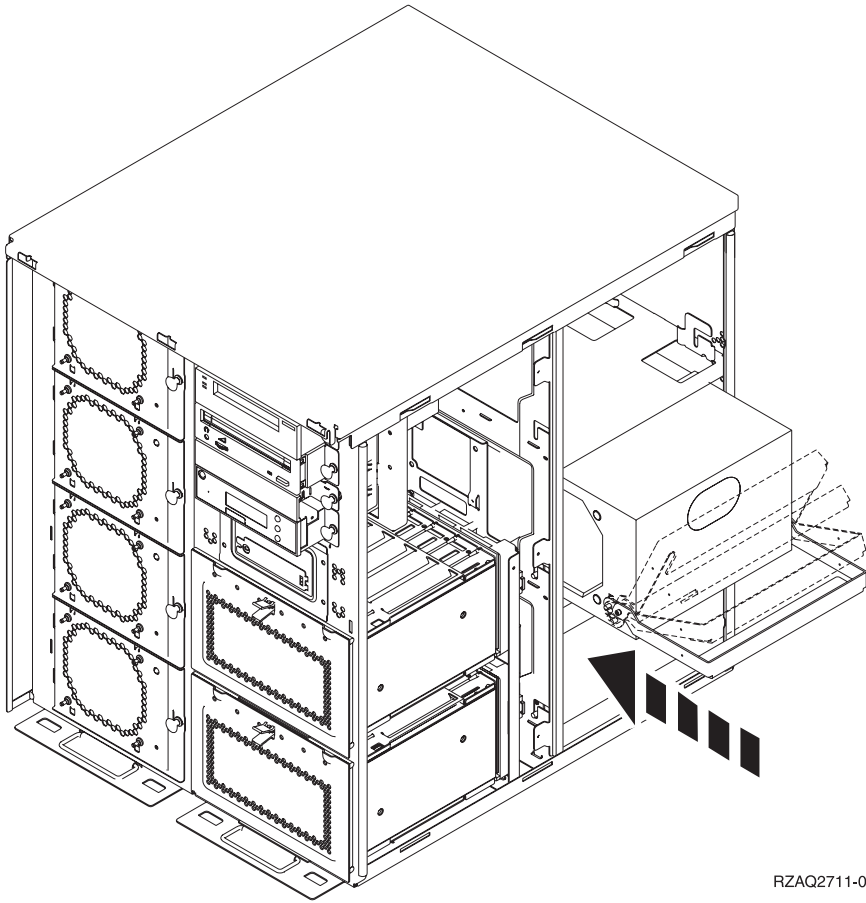


RZAQ2710-0

__ 23. 『電源機構の取り付け』に進みます。

電源機構の取り付け

- __ 1. 電源機構は次の使用可能領域に取り付けます。 66 ページの図 5を参照してください。
- __ 2. ボタンを引き出して、電源機構のフィラー・プレートを取り外します。
- __ 3. 電源機構のハンドルを引き下げます。



RZAQ2711-0

図 5. 電源機構の取り付け

- __ 4. 電源機構をシステム装置に挿入します。
- __ 5. ハンドルを上を持ち上げて、所定の位置にロックします。
- __ 6. 両側面のカバーを取り付けます。
- __ 7. 背面カバーを取り付けます。
- __ 8. 磁気ディスク機構格納装置に磁気ディスク機構を取り付けるには、20 ページの『システムが電源オフの状態での 43xx 磁気ディスク機構の取り付け』に進みます。

システム装置の電源オフ

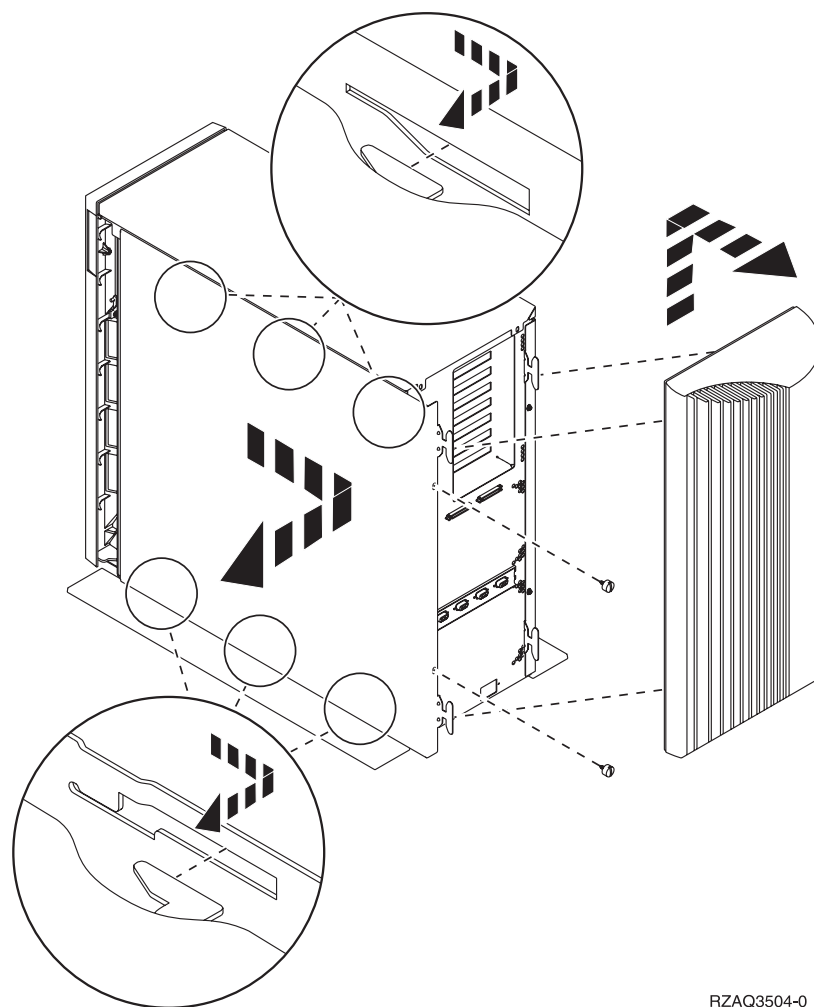
システム装置の電源を切るには、以下の作業を行います。

- __ 1. システムに統合 xSeries アダプター (IXA) が取り付けられている場合は、 OS/400 オプションを使用してシャットダウンしてください。
- __ 2. すべてのジョブが完了していることを確認します。
- __ 3. すべてのジョブが完了していたら、コマンド行に **pwrdownsys *immed** と入力してシステムを遮断し、Enter キーを押します。
- __ 4. iSeries の電源が完全に遮断されたら、すべての PC をシステム装置から外します。システム装置に接続されているすべての装置 (印刷装置や表示装置など) の電源をオフにします。
- __ 5. すべての電源コード・プラグ (印刷装置や表示装置などの) を電源コンセントから取り外します。
- __ 6. システム装置と拡張機構の電源コード・プラグを電源コンセントから取り外します。

側面および背面カバーの取り外し

- __ 1. 背面カバーがある場合はその下部を持ち、上に持ち上げて取り外します。
- __ 2. つまみねじを取り外し、カバーを前から後ろへ止まるまでスライドさせて、右側面カバーを取り外します。
- __ 3. ねじを取り外して、左側面カバーを取り外します。
- __ 4. カバーを引き出します。

📺 これらのステップについてビデオをご覧ください。



RZAQ3504-0

付録. 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒106-0032
東京都港区六本木 3-2-31
IBM World Trade Asia Corporation
Licensing

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。 IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとなります。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書はプランニング目的としてのみ記述されています。記述内容は製品が使用可能になる前に変更になる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

本書は、本書で指定された機械を保守または修理する目的で、ハードウェア・サービス営業員が使用するものです。その他の使用および使用結果については、IBM は何ら保証責任を負いません。

本書に示されている図や仕様は、IBM の書面による許可を得ずにその一部または全部を複製してはいけません。

本書は、本書で指定された機械の操作または計画の目的で、お客様営業員が使用するものです。その他の使用および使用結果については、IBM は何ら保証責任を負いません。

商標

以下は、IBM Corporation の商標です。

Application System/400

AS/400

e (ロゴ)

Freelance

IBM

iSeries

Lotus

Operating System/400

OS/400

WordPro

400

MMX および Pentium は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

資料に関するご使用条件

お客様がダウンロードされる資料につきましては、以下の条件にお客様が同意されることを条件にその使用が認められます。

個人使用: これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布 (頒布、送信を含む) または表示 (上映を含む) することはできません。

商業的使用: これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示することはできません。

ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。IBM は、これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態を提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。

これらの資料の著作権はすべて、IBM Corporation に帰属しています。

お客様が、このサイトから資料をダウンロードまたは印刷することにより、これらの条件に同意されたものとさせていただきます。

コードに関する特記事項

本書には、プログラミングの例が含まれています。

IBM は、お客様に、すべてのプログラム・コードのサンプルを使用することができる非独占的な著作使用権を許諾します。お客様は、このサンプル・コードから、お客様独自の特別のニーズに合わせた類似のプログラムを作成することができます。

すべてのサンプル・コードは、例として示す目的でのみ、IBM により提供されます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。

ここに含まれるすべてのプログラムは、現存するままの状態を提供され、いかなる保証も適用されません。商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任の保証の適用も一切ありません。



Printed in Japan